LIXIL INAX

Shower toilet

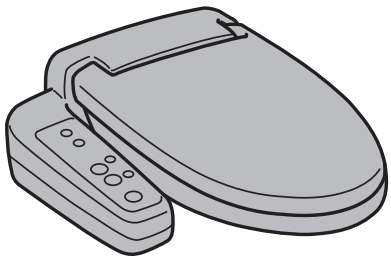
取扱説明書

保証書別添

この度は当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。
※ この説明書は、P シリーズ共通のものです。

シャワートイレ
P シリーズ

CW-P22AF 型　・CW-P22AM 型
CW-P22AFQ 型・CW-P22AMQ 型
CW-P22F 型　・CW-P22M 型



プラ
袋:PE

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

工事店様へのお願い

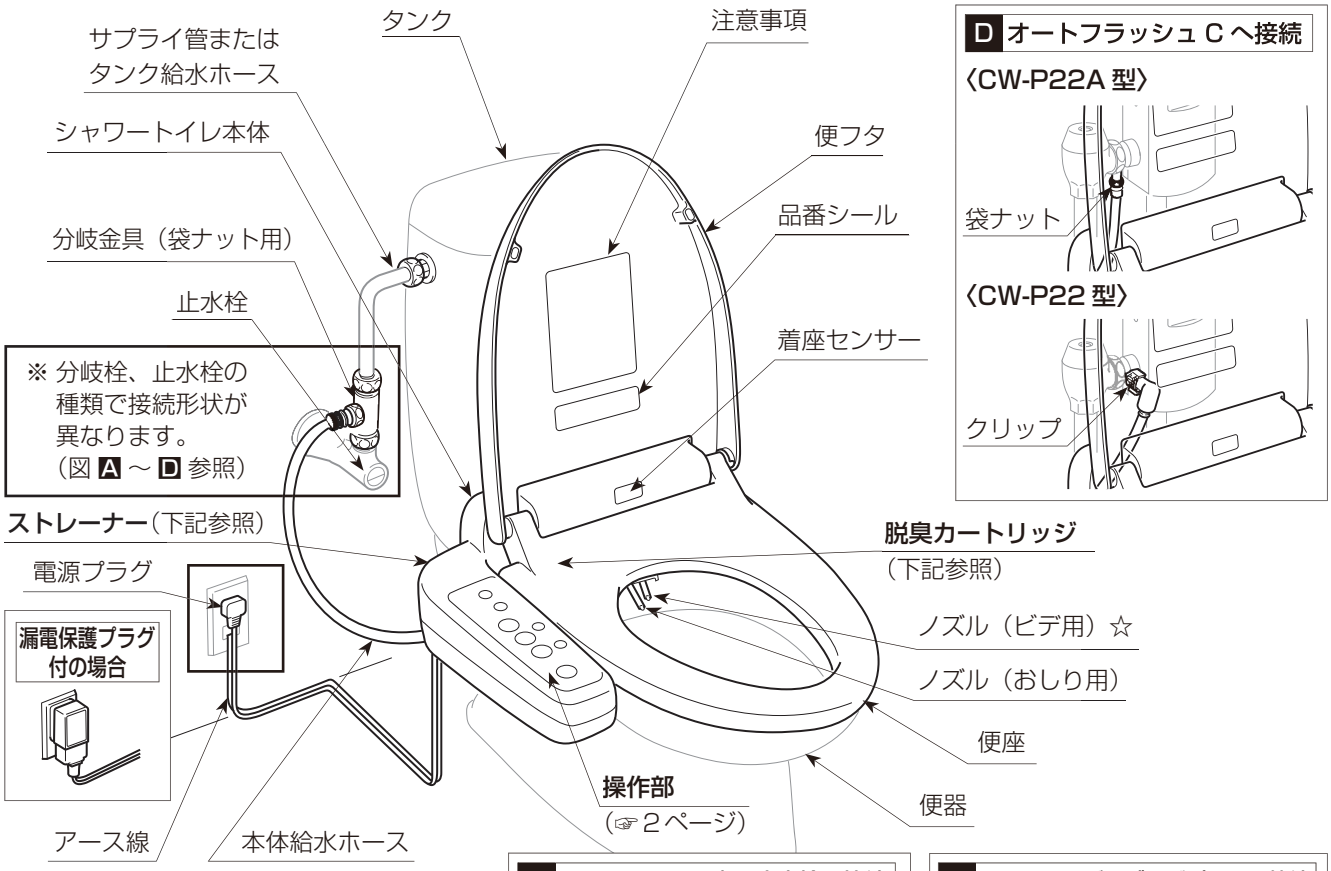
貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

もくじ

各部のなまえ	1
安全上の注意	4
お取り扱い上の注意	7
お使いになる前に確認してください	8
ご使用方法	
●ご使用前の準備　（電源・設定・便座・温水）	10
●基本機能の使いかた（おしり・ビデ洗浄）	11
（脱臭）	12
（流水音）	12
●快適機能の使いかた（節電）	13
（フルオート便器洗浄）	15
（より快適な機能）	16
●知っておいていただきたいこと	21
お手入れ方法	
●日頃のお手入れ	23
●便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分の掃除）	25
●脱臭効果が弱くなった場合	26
●本体で隠れた便器部分を掃除します	27
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら	29
●流水音が小さいまたは大きいと思ったら	30
●定期的な部品交換のお願い	30
長期間使用しない場合	31
冬期凍結の恐れがある場合	33
修理を依頼される前に	
●故障かなと思ったら	35
安全・安心にお使いいただくために	39
アフターサービス	42
仕様	44
別売品のご案内	45
重大事故防止のためのお願い	46

各部のなまえ

■全体図　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



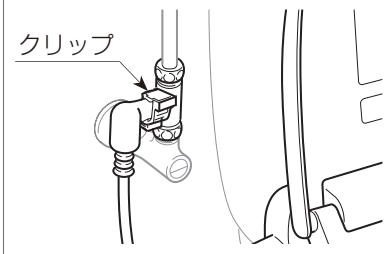
D オートフラッシュ C へ接続

〈CW-P22A 型〉

〈CW-P22 型〉

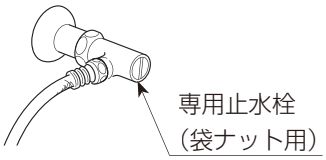
A 分岐金具（クリップ用）へ接続

〈CW-P22 型〉

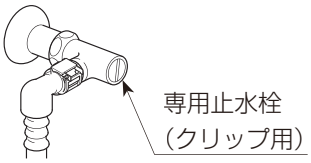


B シャワートイレ専用止水栓へ接続

〈CW-P22A 型〉

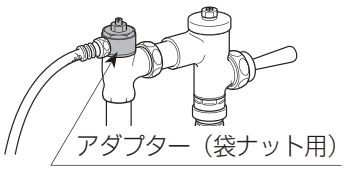


〈CW-P22 型〉

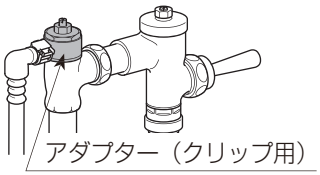


C フラッシュバルブアダプターへ接続

〈CW-P22A 型〉

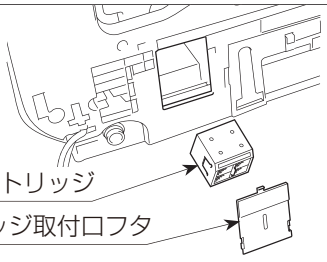


〈CW-P22 型〉



■脱臭カートリッジ

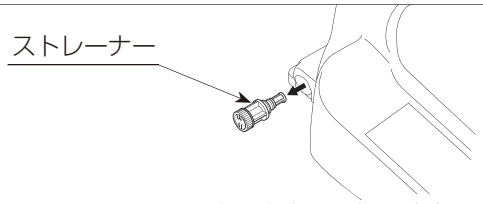
〈本体裏面〉



※ ニオイを吸収・除去します。

※ 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。（☞ 26 ページ）

■ストレーナー



※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。

※ ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。（☞ 29 ページ）

■操作部　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

止
●おしり洗浄●ビデ洗浄
●流水音の動作を止めます。

電源
設定解除中に止スイッチを 6 秒以上押すと、電源の入／切をします。
（☞ 10 ページ）

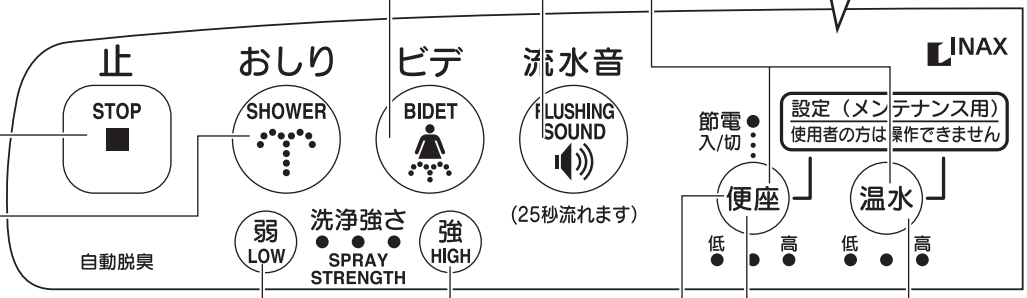
流水音（女性用）
流水音が 25 秒間流れます。（☞ 12 ページ）

ビデ（女性用）★
ビデ洗浄のときに使用します。（☞ 11 ページ）

設定
便座スイッチと温水スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押すと、便座と温水の温度調節、節電、電源の設定ができます。
（☞ 10 ページ）

〈CW-P22AFQ 型・CW-P22AMQ 型〉

送信部 ★
洗浄信号をオートフラッシュ C に送ります。



おしり
おしりを洗うときに使用します。（☞ 11 ページ）

洗浄強さ
おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを調節します。
（☞ 11 ページ）

便座
暖房便座の温度を調節します。（☞ 10 ページ）

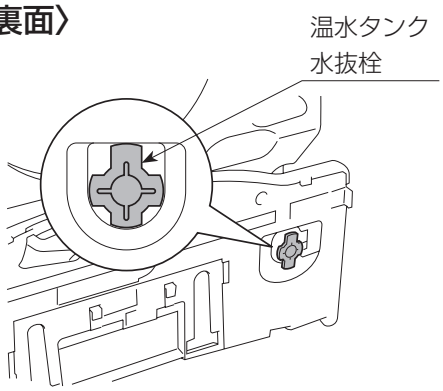
温水
温水温度を調節します。
（☞ 10 ページ）

節電
設定解除中に 6 秒以上押すと、便座と温水の温度を下げて節電します。
（☞ 13 ページ）

※脱臭は便座に座ると、自動的に始まります。（☞ 12 ページ）

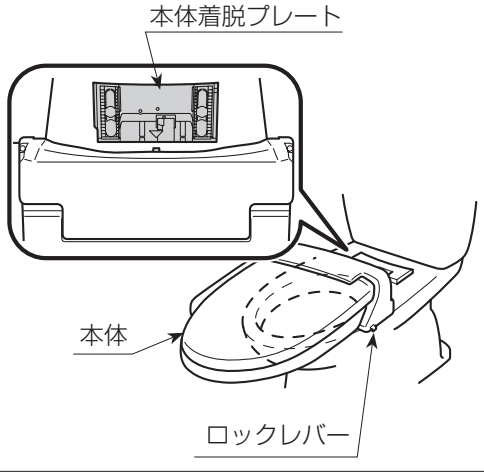
■温水タンク水抜栓

〈本体裏面〉



※ 温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。（☞ 31 ページ）

■本体着脱プレート



●保有機能一覧（あり：○、なし：—）

シリーズ	Pシリーズ			
品番	P22AF型・P22F型	P22AFQ型・P22FQ型	P22AM型・P22M型	P22AMQ型・P22MQ型
おしり洗浄	○	○	○	○
ビデ洗浄	○	○	—	—
暖房便座	○	○	○	○
脱臭	○	○	○	○
ステップ節電	○	○	○	○
ワンタッチ節電	○	○	○	○
フルオート便器洗浄	—	○	—	○
リモコン対応（おしり、ビデ、流水音）	—	○	—	○
流水音	○	○	—	—

※ 品番は、便フタ裏の品番シールに記載されています。（☞ 1 ページ）お持ちの機能をご確認ください。

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・・ この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。

注意 ・・・・・ この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

・・・・・ この表示は「注意しなさい！」の記号です。（上記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止
・・・・・ この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

指示実行
・・・・・ この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕
※「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

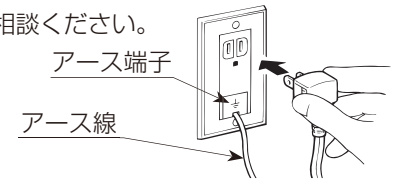
分解禁止

電源コードをキズつけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

禁止

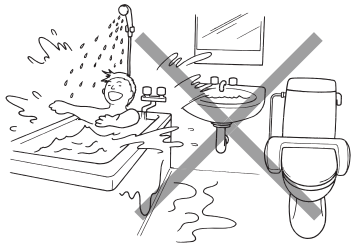
確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

アース接続



バスルーム等、湿気の多い場所には設置しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。

水場使用禁止



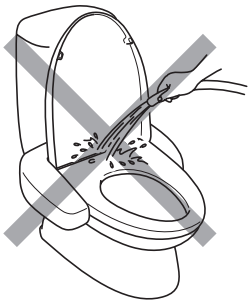
⚠警告

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。
禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※ 感電の原因になります。
ぬれ手禁止

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。
（33、34 ページ参照）
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
指示実行

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。
水かけ禁止

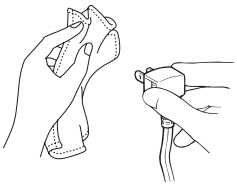


シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。
指示実行

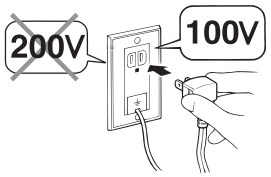
電源プラグをコンセントに差し込むときは根本まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。
指示実行

シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。
指示実行

電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふきとってください。
※ ホコリが火災の原因になります。
指示実行



●交流 100V 以外では使用しないでください。
●タコ足配線はしないでください。
※ 火災の原因になります。
禁止



⚠注意

止水栓に手をかけたり、乗ったりしないでください。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。
禁止

タバコや灰皿等の火気類を近づけないでください。
※ 火災の原因になります。
火気禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
禁止

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。
※ ケガの原因になります。
禁止

⚠注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。

禁止

※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがＯリングに付着していないことを確認してください。

指示実行

※ Ｏリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。

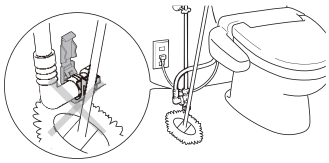
指示実行

※ 部品の劣化・摩耗等による水漏れが発見できず、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

清掃時等、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けたりしないでください。

禁止

※ クリップの破損等により給水ホースが外れ、室内浸水の原因となります。



便フタにもたれないでください。

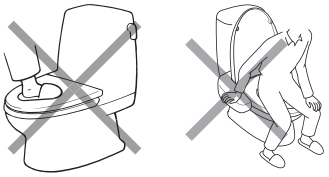
禁止

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

便フタや本体および操作部の上に乗ったり、手をついて立ち座り等しないでください。

禁止

※ 破損してケガをすることがあります。



便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

接触禁止

※ 破損部でケガをすることがあります。早めに交換してください。

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜いてください。（31 ページ参照）

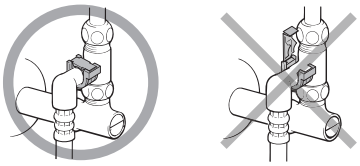
指示実行

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症等を起こす原因になります。

クリップは給水ホースに、確実にはまっている事を確認してください。

指示実行

※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。



水道水以外に接続しないでください。

禁止

※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

お掃除のときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

指示実行

※ 感電の恐れがあります。

次のような方が使用されるときには、周りの方が転倒に注意してください。
〔お子さま、お年寄り、ご自分で座ることや立ち上がることができない方〕

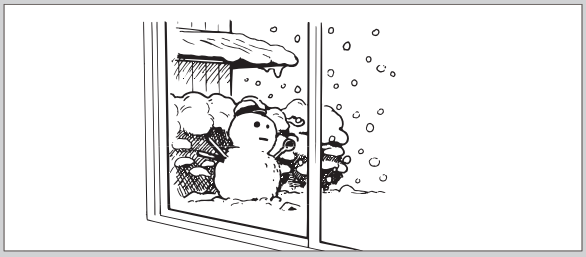
指示実行

※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

お取り扱い上の注意

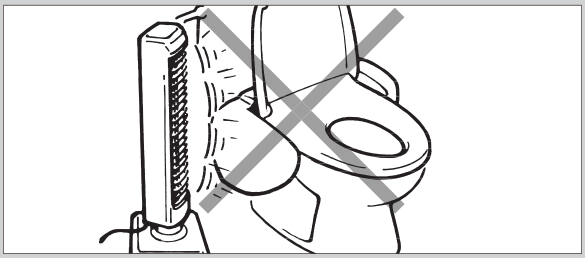
■故障を起こさないために守ってください。

凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。（☞ 33、34 ページ）

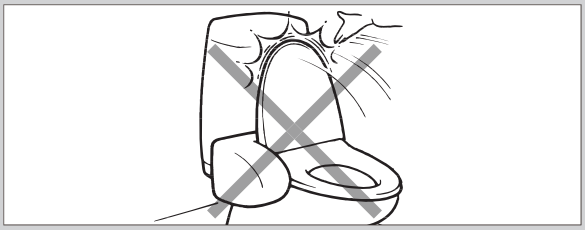


直射日光が当たらないようにしてください。
※ プラスチック部が変色することがあります。

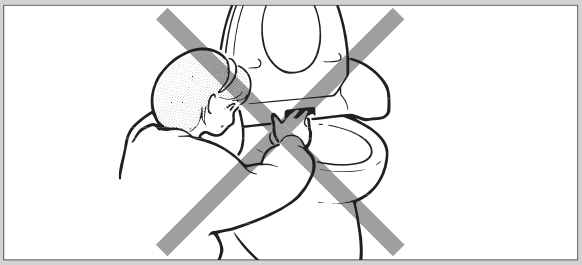
シャワートイレ本体にストーブやヒーター等を近づけすぎないでください。
※ **変色や故障の原因**になります。



便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※ 割れたり**漏電等、故障の原因**となることがあります。



開口部やノズル付近に手や物を突っ込まないでください。
※ **手をケガしたり、故障の原因になります。**



シャワートイレ本体･便座･便フタ等のプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパー等でふかないでください。
※ キズつきの原因になります。
詳しいお手入れ方法は23ページをご覧ください。

プラスチック部に、トイレ用消臭剤をかけないように注意してください。
かかった場合は、すぐにふきとってください。
※ 光沢が無くなることがあります。

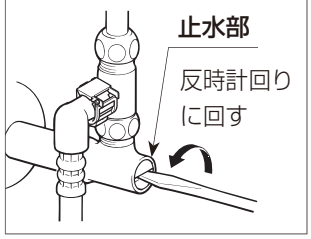
お使いになる前に確認してください

シャワートイレをはじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 止水栓が開いていることを確認します。

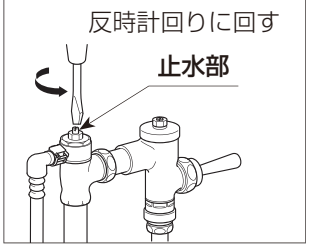
止水栓が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。

［タンク用止水栓の場合］



［シャワートイレ専用止水栓の場合］

［フラッシュバルブの場合］

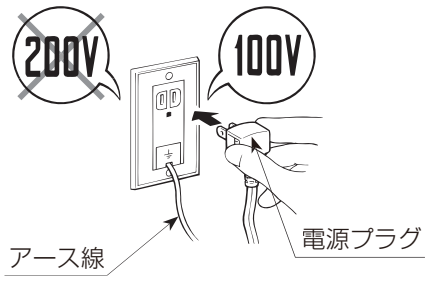


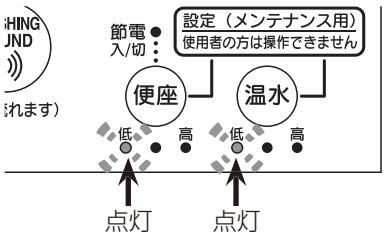
［オートフラッシュ C の場合］

2 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。

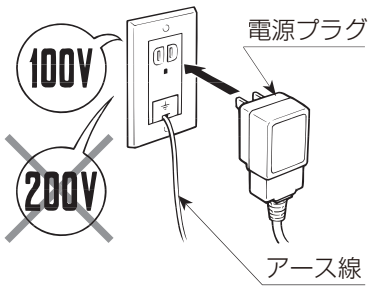
1. アース線をコンセントのアース端子に接続します。
2. 電源プラグを交流 100V のコンセントに差し込みます。
3. 温水と便座の表示ランプ「低」が点灯していることを確認します。

〈漏電保護プラグ付の場合〉
もし、表示ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。

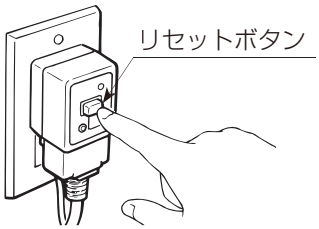




［漏電保護プラグ付の場合］



［漏電保護プラグ付の場合］



※ 電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。

注意 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

⚠ 警告

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。

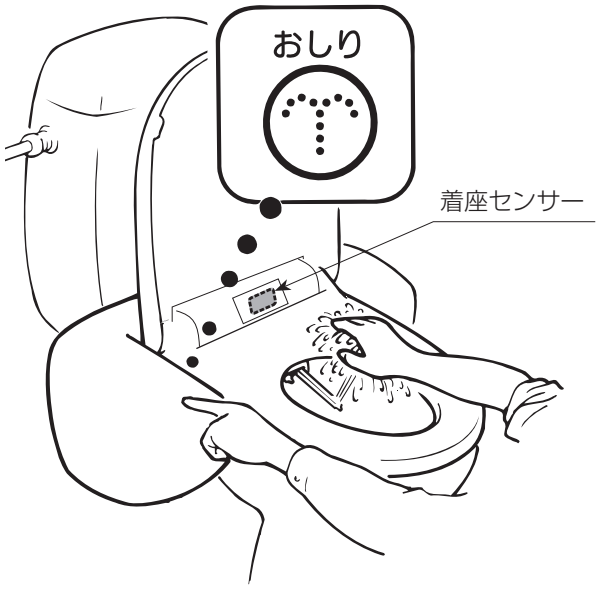
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

⚠ 警告

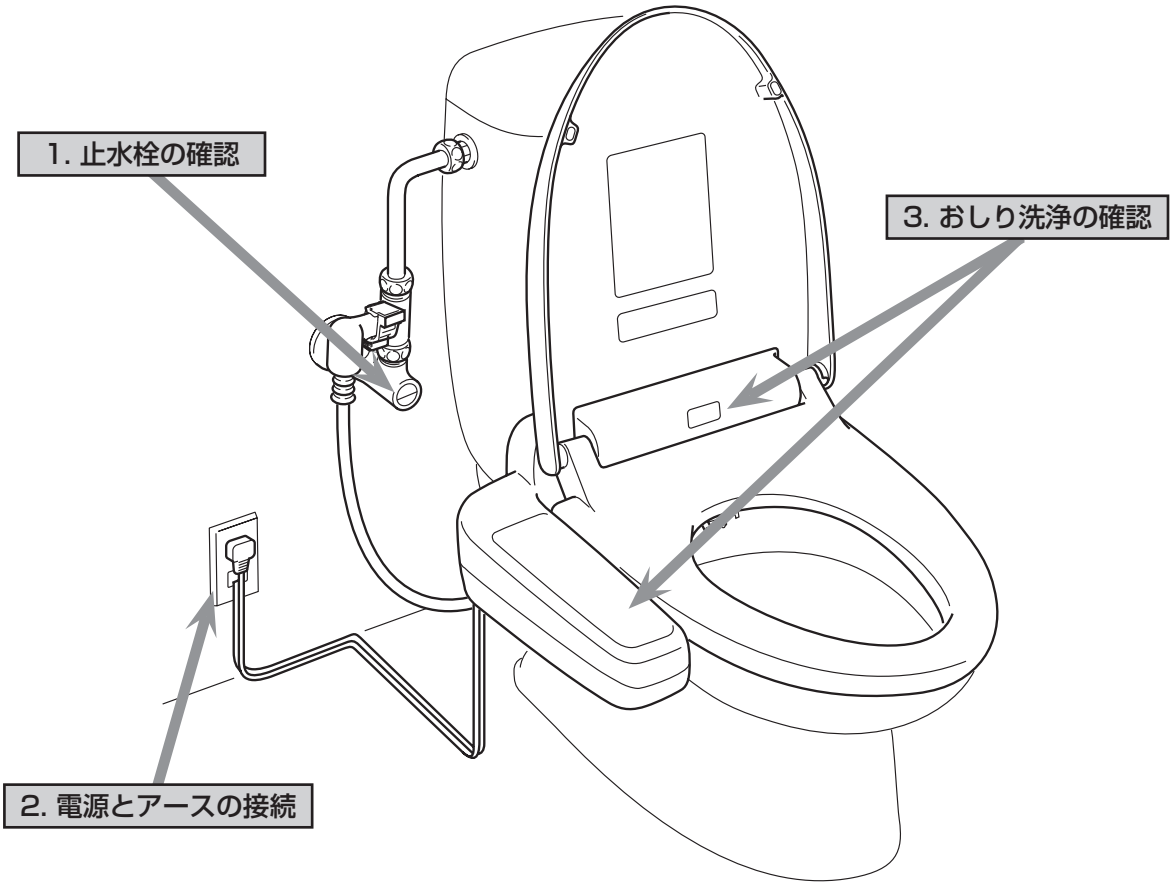
- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。
  ※ 火災の原因になります。

3 おしり洗浄を確認します。

1. **着座センサーが紙で覆われていることを確認してください。**
   ※ 紙が張っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。
2. **おしりスイッチを押してください。**
3. **ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。**
   ただし温水タンクが満水でないと、ノズルが伸びてくるまで 2 分近くかかることがあります。（洗浄強さを最強にしておくと早く出てきます。）
4. **シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。**
   ご使用方法 (10 ページ以降) をご覧になって他の機能も確認してください。
5. **着座センサーを覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。**



※ 人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄〈ビデ洗浄付の場合〉、脱臭は、着座していないと作動しません。



ご使用方法

《ご使用前の準備》

シャワートイレを使用する前に下記の設定をします。

■電源（電源の入／切）

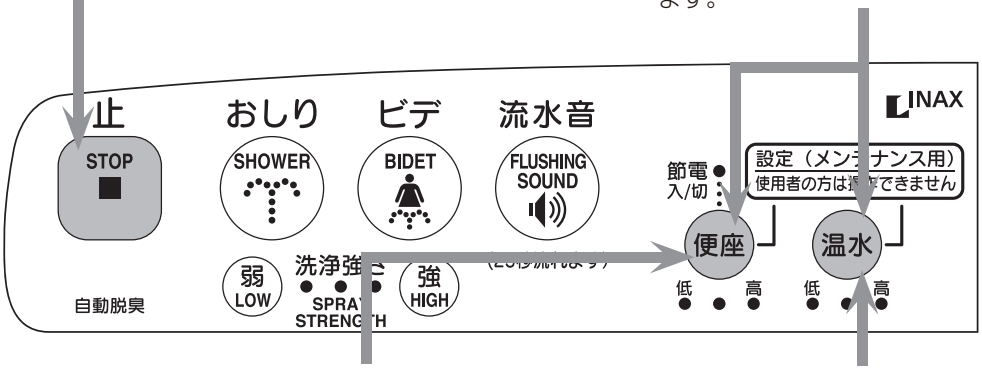
設定解除中、「止」スイッチを 6 秒以上押すと電源の入／切ができます。

※ 設定を解除しないと電源の入／切はできません。
※ 着座中はセットできません。
※ 電源の入／切は、温水と便座の表示ランプが設定温度で点灯しているかどうかで確認できます。
※ 電源プラグをコンセントに差し込むと初期設定は電源「入」の状態になります。

■設定（設定の解除／固定）

「便座」スイッチと「温水」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押して設定の解除／固定をします。

※ 解除すると便座温度･温水温度の調節と、節電の入／切、電源の入／切を行うことができます。
※ 設定解除後、1 分間に何もしない場合は自動的に固定され、調節等はできなくなります。
※ 設定解除後、「便座」「温水」「止」以外のスイッチを押した場合は自動的に固定され、調節等はできなくなります。



■便座（便座の暖めかた）

設定解除（上記参照）してから、便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ 設定を解除しないと温度の切替えはできません。
※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
※ スイッチを押すごとに「切（消灯）」･「高」･「(中)」･「低」と表示が切り替わります。

■温水（シャワーの温めかた）

設定解除（上記参照）してから、温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ 設定を解除しないと温度の切替えはできません。
※ シャワーはすぐには温まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
※ スイッチを押すごとに「切（消灯）」･「高」･「(中)」･「低」と表示が切り替わります。

⚠ 警告

●長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
●次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬等、眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

指示実行

※ 「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

参考

● 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオートOFF”機能が付いています。（☞ 16 ページ参照）
● 便座温度「(中)」の設定温度だけを 2℃下げることができます。（☞ 16 ページ参照）

《基本機能の使いかた》

※ 人が便座に座ったことを感知する着座センサーが付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄〈ビデ洗浄付の場合〉、脱臭は、着座していないと作動しません。

■おしり洗浄

1 おしりスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗います。

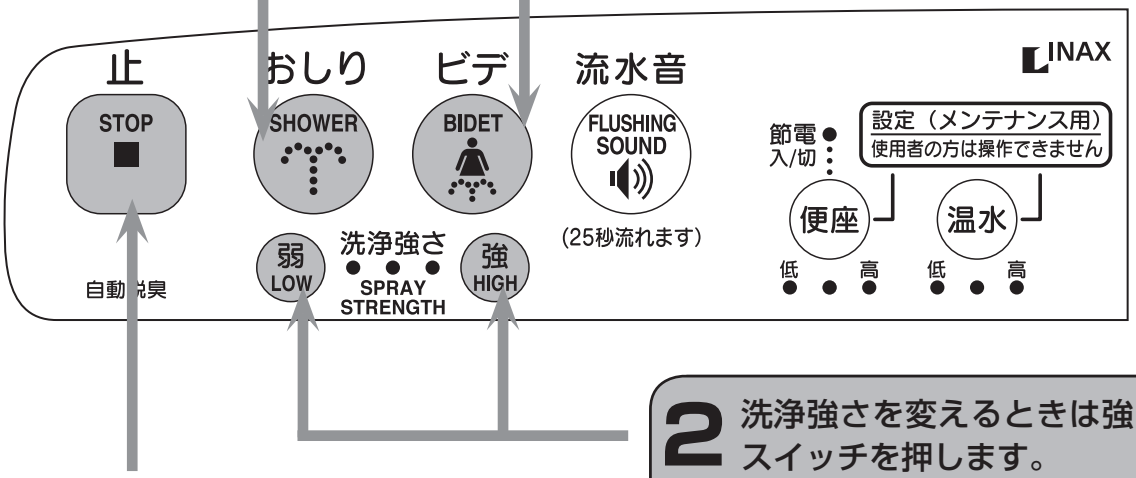
■ビデ洗浄（女性用）

※ 機種によっては、この機能がない場合があります。

1 ビデスイッチを押します。

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。

※ シャワーに空気を混入させ、よりソフトに洗浄します。



2 洗浄強さを変えるときは強または弱スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの強さに設定してください。

3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
  ※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

※ ノズルオートクリーニングについて

おしり・ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

参考

おしり洗浄の強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーの「弱」設定をさらに弱くする機能が付いています。（☞ 19 ページ）

■脱臭

1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ 脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

2 便座から立ち上がると約 1 分後に停止します。

※ 脱臭ファンの能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。
※ 立ち上がってから 1 分後に自動停止します。
※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。（☞ 26 ページ）

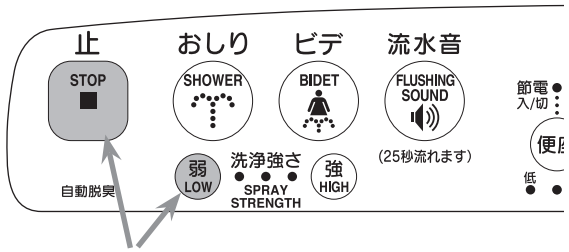
不適切な便フタカバーをご使用の場合、着座センサーに布が掛かり、脱臭ファンが回りっぱなしになる恐れがあります。

■脱臭を使用しない場合

●操作方法

止スイッチと洗浄強さスイッチ「弱」を同じタイミングで 6 秒以上押します。

※ セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅し、脱臭ファンは作動しなくなります。
※ 再び、使用する場合も止スイッチと洗浄強さスイッチ「弱」を同じタイミングで 6 秒以上押します。



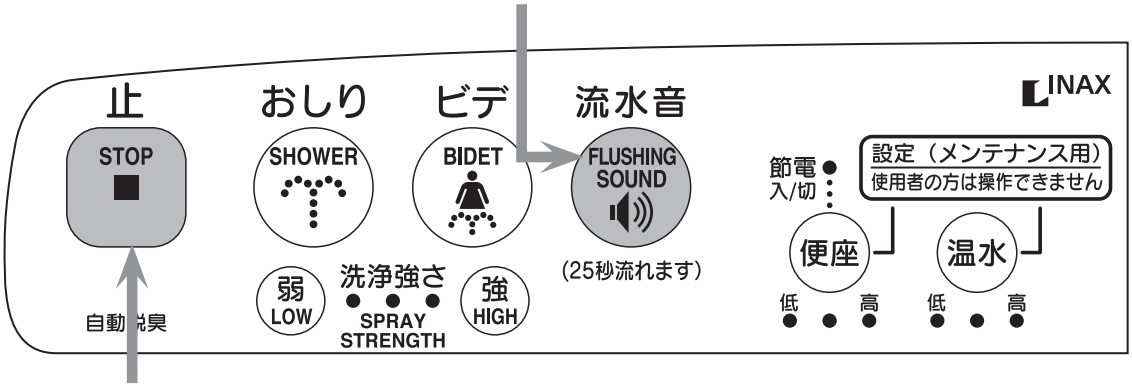
■流水音（女性用）

※機種によっては、この機能がない場合があります。

1 流水音スイッチを押します。

流水音が 25 秒間流れます。

※ 流水音を延長したいときは、流水音が流れているときに再度「流水音」スイッチを押します。
※ 流水音の音量が小さいまたは大きいと感じられる場合は、30 ページをご覧になって音量を調節してください。
※ 流水音は脱座 6 秒後に停止します。



2 止めるときは止スイッチを押します。

《快適機能の使いかた》

■節電

節電機能には**ステップ節電**と**ワンタッチ節電**の２種類があります。

1. **ステップ節電**：　トイレを使用しない時間の長さに応じて、温水と便座の温度を段階的に下げていき、長時間不在の場合は、便座と温水のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。

2. **ワンタッチ節電**：　長時間使用しない夜間等、スイッチを押してから８時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。８時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻し、24 時間ごと（毎日同じ時間から）に繰り返します。

節電機能は、節電「切」（電源投入時）→ステップ節電→ワンタッチ節電→節電「切」→・・・の順で切り替わります。

■ステップ節電の作動

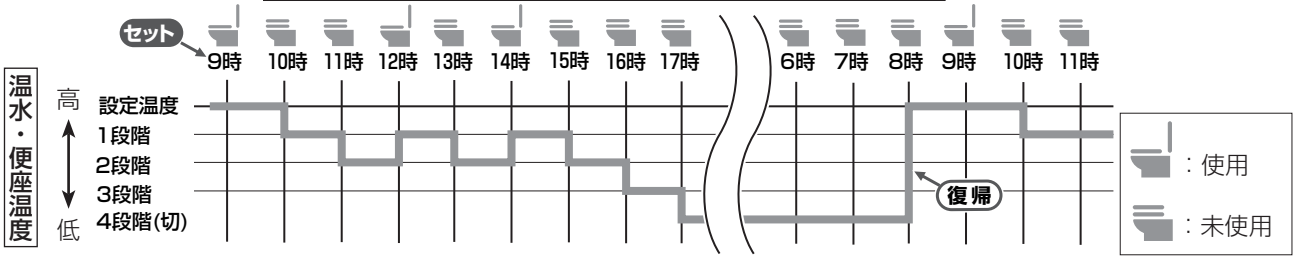
●トイレを使用しない状態が 1 時間つづいたとき、温水と便座の温度を 1 段階下げ、さらに未使用が 1 時間つづくごとに 1 段階下げます。下げる段階は全部で 4 段階あり、4 段階目はヒーターを切にします。1 段階で下がる温度は、下表を参照してください。

	温　　水			便　　座		
初期設定	高	中	低	高	中	低
温度（℃）	40	38	36	36	34	28
1 段階目	38	38	36	34	34	28
2 段階目	36	36	36	32	32	28
3 段階目	34	34	34	28	28	28
4 段階目	切	切	切	切	切	切

●節電中にトイレを使用すると 1 回につき 1 段階、温水と便座の温度を上げます。

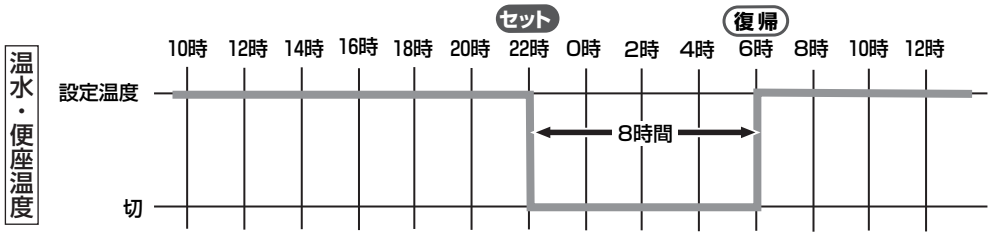
●ステップ節電は、一度セットすると解除するまで節電をつづけますが、セットした時間の 1 時間前になると、いったん温水と便座を設定温度まで復帰させます。朝等、日頃習慣的に使用する時間にセットすると便利です。

例：朝の９時にセットした場合（便座・温水設定「高」時）



■ワンタッチ節電

例：夜の 10 時にセットした場合（便座・温水設定「高」時）



1. 設定の解除

1 便座スイッチと温水スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。（設定の解除）

設定が解除され、節電の入／切ができるようになります。

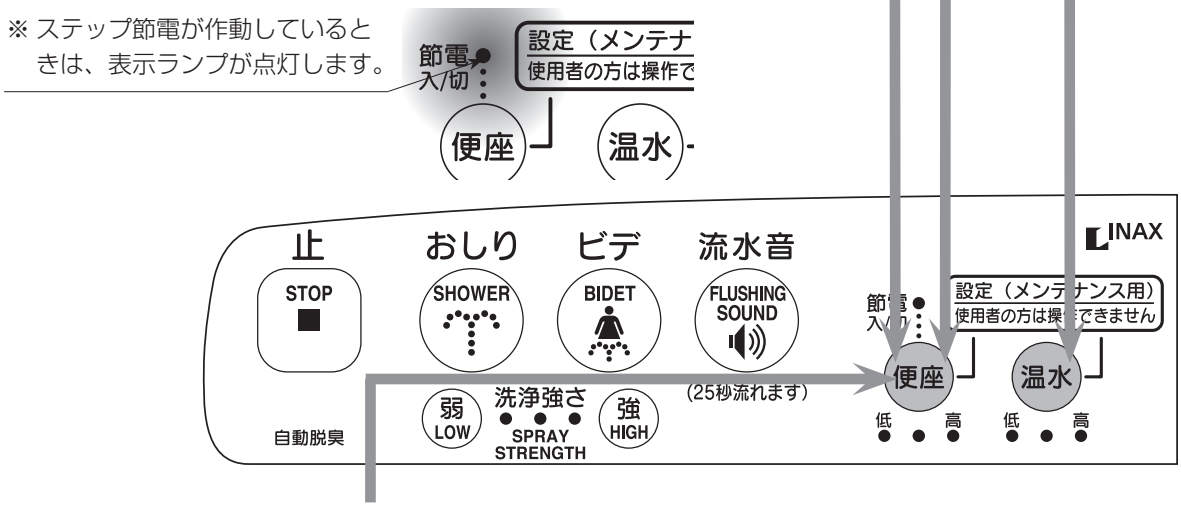
※ 設定解除後、1 分間に何もしない場合は自動的に固定され、節電の入／切ができなくなります。
※ 設定解除後、「便座」「温水」「止」以外のスイッチを押した場合は自動的に固定され、節電の入／切はできなくなります。

2. ステップ節電

2 便座スイッチを 6 秒以上押します。
（節電ランプ点灯）

セットしてから 23 時間後、いったん設定温度に戻しますが、その 1 時間後、再び節電を開始します。

※ ステップ節電が作動しているときは、表示ランプが点灯します。

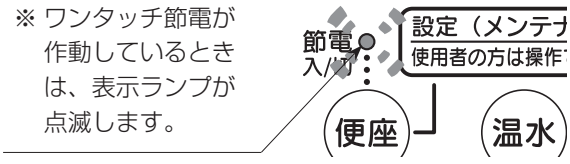


3. ワンタッチ節電

3 節電ランプの点灯を確認して、もう一度便座スイッチを 6 秒以上押します。
（節電ランプ点滅）

セットしてから 8 時間、温水と便座の温度を「切」にします。24 時間後、再び節電を開始します。

※ ワンタッチ節電が作動しているときは、表示ランプが点滅します。



4. 節電の解除

4 節電を解除するときは、さらに便座スイッチを 6 秒以上押します。
（節電ランプ消灯）

※ 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。
その際は節電を解除してください。
※ 便フタを閉じておくと節電に効果的です。

■フルオート便器洗浄

※機種によっては、この機能がない場合があります。

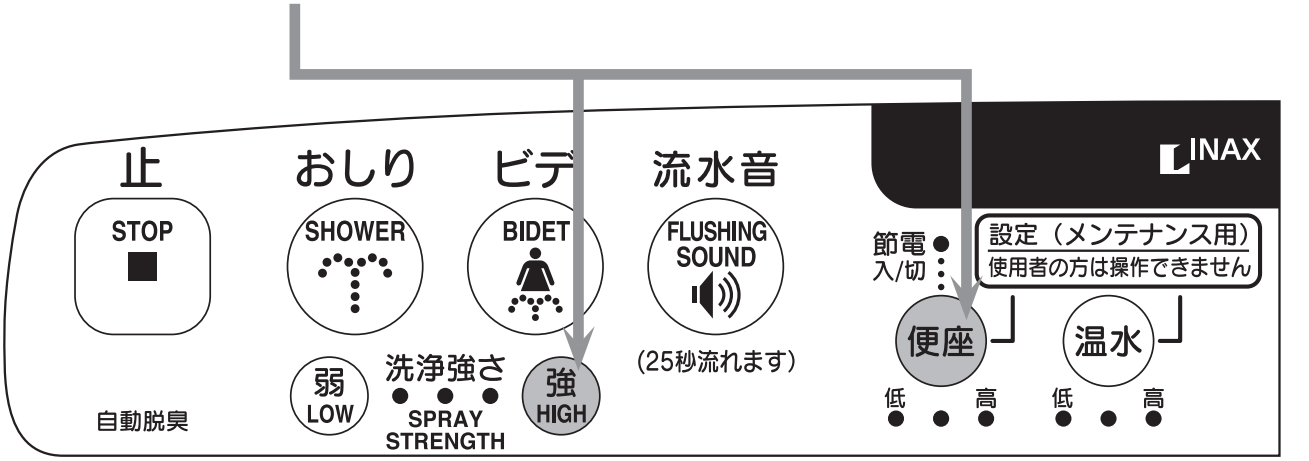
フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がると数秒後に自動で便器洗浄を行います。
［オートフラッシュ C（OKC-500SCW 他）と P22AFQ 型、P22AMQ 型を組み合わせたときに可能］

フルオート便器洗浄のしかた

お買い上げ時は、「入：大洗浄のみ」の状態になっています。

1 使用しないときは、洗浄強さ「強」スイッチと便座スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。

2 使用したいときは、再度洗浄強さ「強」スイッチと便座スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。



※ お買い上げ時は、大洗浄のみの設定です。これを大小洗浄に切り替えることができます。（☞ 16 ページ参照）
大小洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。ただし 50 秒未満でもおしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。

※ 大小洗浄便器において、大小洗浄を判定する時間の長さを約 120 秒または 150 秒に切り替えることができます。（☞ 17 ページ参照）

※ フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 10 秒後または 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 17 ページ参照）

※ 一度フルオート便器洗浄を行った後は、30 秒間フルオート便器洗浄は行いません。ただし、手動での便器洗浄を行うことはできます。

■より快適な機能

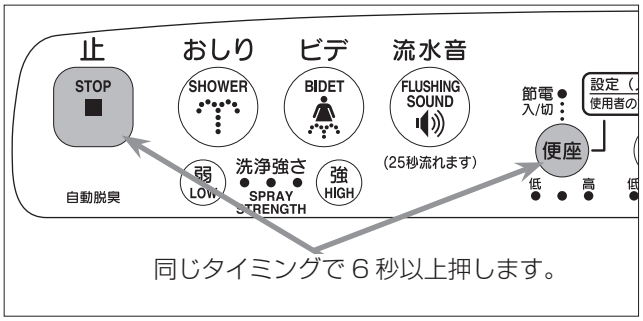
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

便座ヒーターオート OFF について

座っているときだけ自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能がついています。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●「止」スイッチと「便座」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）



●解除も同じ方法で行います。

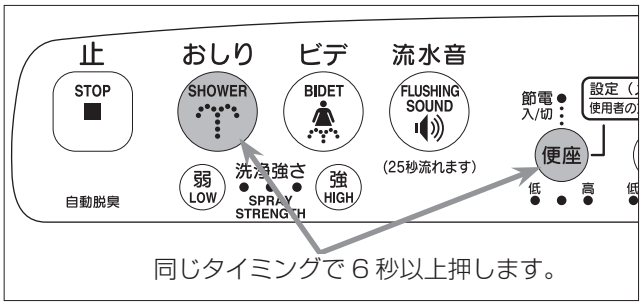
※ この機能をセットしているときに、着座すると、便座の表示ランプが消灯します。
※ この機能をセットしているときに、連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります
※ 立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。

便座温度「中」の設定温度変更について

便座温度「中」の設定温度を 2℃下げることができます。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●「おしり」スイッチと「便座」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。（セット完了時、便座と温水の表示ランプが一瞬点滅します。）



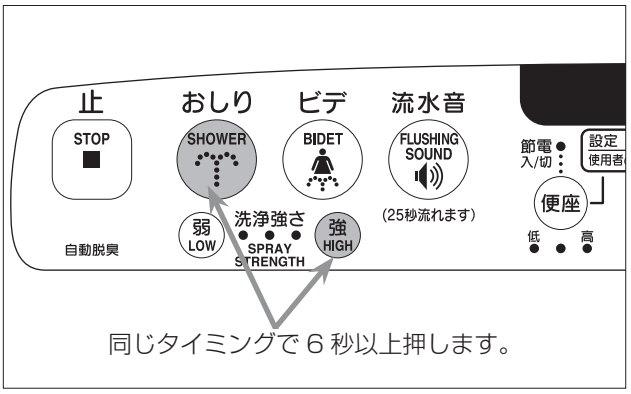
●解除も同じ方法で行います。

大洗浄・大小洗浄の切替えについて　☆（P22AFQ 型、P22AMQ 型）

フルオート便器洗浄は、自動的に大洗浄を行います。この大洗浄を、大小洗浄に切り替えることができます。下記の要領で切り替えてください。

■切替方法

●おしりスイッチと洗浄強さの強スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。
（セット完了時、便座と温水の全ての表示ランプが一瞬点滅します。）



●元に戻すのも同じ方法で行います。

※ フルオート便器洗浄入 / 切のしかたはご使用方法の「フルオート便器洗浄」をご参照ください。（☞ 15 ページ参照）

大小洗浄の判定時間切替えについて　☆（P22AFQ 型、P22AMQ 型）

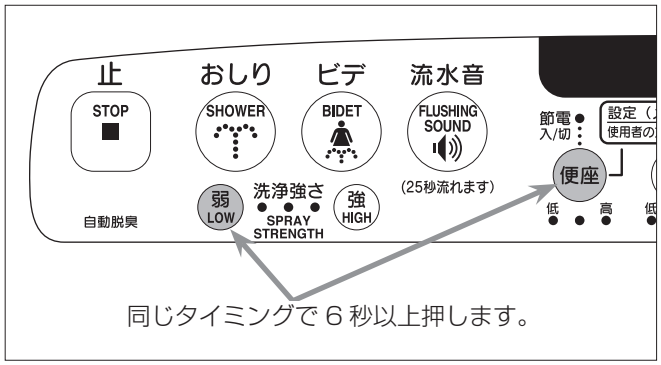
大小洗浄は、便座に座ってから約 50 秒以上を大洗浄、約 50 秒未満を小洗浄と判定します。
この判定時間を、約 120 秒、または約 150 秒に切り替えることができます。
お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■切替方法

●洗浄強さの弱スイッチと便座スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。
（セット完了時、便座と温水の全ての表示ランプが一瞬点滅し、同時に洗浄強さの表示ランプが下記のとおり点滅します。）
押すたびに 50 秒（お買い上げ時）→ 120 秒 → 150 秒→ 50 秒と設定が切り替わります。

設定時間	表示ランプの点滅
50 秒	洗浄強さ「弱」2 回点滅
120 秒	洗浄強さ「中」2 回点滅
150 秒	洗浄強さ「強」2 回点滅

●元に戻す場合は同じ操作を合計 3 回行います。



※ フルオート便器洗浄入 / 切のしかたはご使用方法の「フルオート便器洗浄」をご参照ください。（☞ 15 ページ参照）

便器洗浄開始時間について　☆（P22AFQ 型、P22AMQ 型）

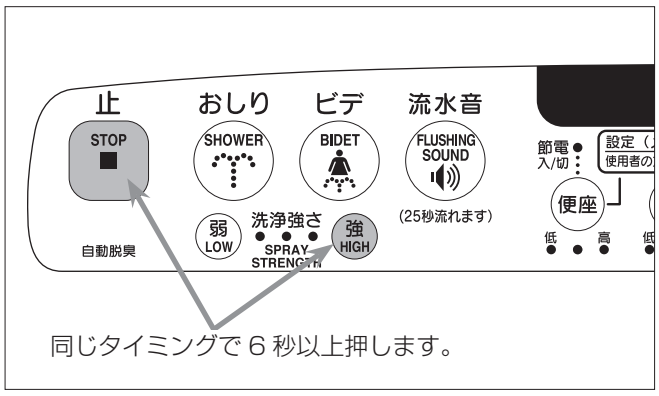
フルオート便器洗浄は、便座から立ち上がってから約 6 秒後、自動的に便器洗浄を開始します。
この開始時間を、約 10 秒後、または約 15 秒後に切り替えることができます。
お好みに合わせて下記の要領で切り替えてください。

■切替方法

●止スイッチと洗浄強さの強スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押します。
（セット完了時、便座と温水の全ての表示ランプが一瞬点滅し、同時に洗浄強さの表示ランプが下記のとおり点滅します。）
押すたびに 6 秒（お買い上げ時）→ 10 秒→ 15 秒→ 6 秒と設定が切り替わります。

設定時間	表示ランプの点滅
6 秒	洗浄強さ「弱」2 回点滅
10 秒	洗浄強さ「中」2 回点滅
15 秒	洗浄強さ「強」2 回点滅

●元に戻す場合は同じ操作を合計 3 回行います。



※ フルオート便器洗浄入 / 切のしかたはご使用方法の「フルオート便器洗浄」をご参照ください。（☞ 15 ページ参照）

併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために　☆（P22AFQ 型、P22AMQ 型）

シャワートイレを併設する場合は、他ブースのシャワートイレも反応し誤作動を起こす恐れがあります。このような場合は、リモコン（別売品）とシャワートイレ本体の信号（カスタムコード）を変更してください。

注意　着座センサーが検知している状態ではセットできません。必ず座っていない状態でセットしてください。（試運転ラベルが張ってある場合は、はがしてセットしてください。）

■リモコンの発信信号（カスタムコード）の変更

変更方法は、リモコンに入っている説明書をご覧ください。
リモコン説明書に変更方法の記載がない場合、「コード変更リモコン」が別途必要です。

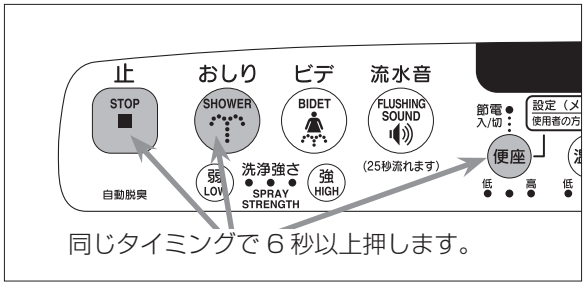
■シャワートイレ本体の受信信号（カスタムコード）の変更

●止スイッチ、おしりスイッチ、便座スイッチの３つを同じタイミングで６秒以上押します。
（セット完了時、便座と温水の全ての表示ランプが一瞬点滅し、同時に洗浄強さの表示ランプが下記のとおり点滅します。）

●セット完了後 10 秒間の間に止スイッチを押すと、信号が 1、2、3 の順に切り替わります。

洗浄信号	洗浄強さランプ	表示方法
信号 0	強・中・弱 すべて	消灯
信号 1	弱	2 回点滅
信号 2	中	2 回点滅
信号 3	強	2 回点滅

※ お買い上げ時の設定は「信号 0」となっています。

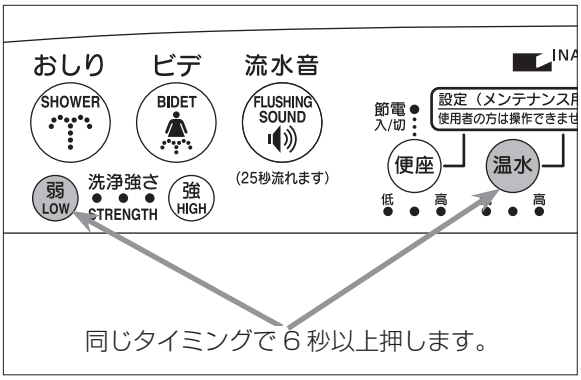


洗浄強さをさらに弱くしたい方のために

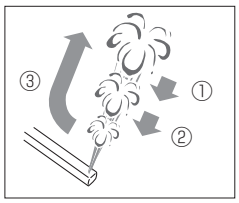
おしり洗浄を「弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。
洗浄強さの弱のみをさらに弱くできます。

■調節方法

●「温水」スイッチと洗浄強さスイッチ「弱」を同じタイミングで 6 秒以上押します。
便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅して 1 段弱くなります。
弱くする設定は 2 段階ありますのでお好みの強さに調節してください。



※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとノズルが出なくなったり、伸びが遅くなる恐れがありますのでご注意ください。



押すたびに洗浄強さが 1 段階ずつ弱くなり、3 回押すと元に戻ります。

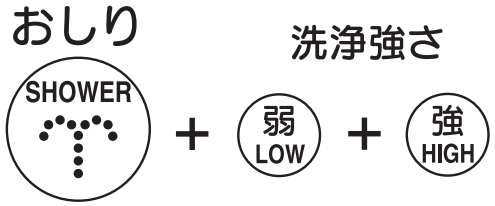
●元に戻す場合は再度、「温水」と洗浄強さスイッチ「弱」を同じタイミングで 2 秒以上押す操作を繰り返します。合計 3 回目に元に戻ります。
※ 一段階弱くした場合は 2 回操作し、二段階弱くした場合は 1 回操作すると元の洗浄強さに戻ります。
操作のたびに便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。

■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになってみます。「より快適な機能」等で設定を変更し、全ての機能をお買い上げ時の設定に戻したい場合は、**「おしり」と洗浄「強」と洗浄「弱」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上**押してください。（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）

注意　着座センサーが検知している状態ではセットできません。
必ず座っていない状態でセットしてください。

機能説明	お買い上げ時の設定
脱臭の入 / 切	脱臭する
ステップ節電の入／切	ステップ節電しない
ワンタッチ節電の入／切	ワンタッチ節電しない
着座時のみ便座ヒーターを切る	切らない
便座温度「(中)」の設定温度	34℃
洗浄強さ「弱」の設定	3 段階中の最強
フルオート便器洗浄	入：大洗浄のみ



同じタイミングで 6 秒以上押します。

《知っておいていただきたいこと》

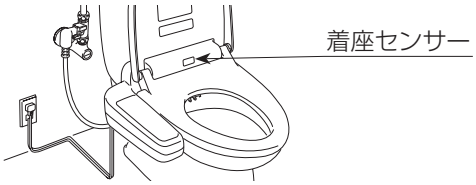
シャワーの温度について。

●おしりまたはビデ洗浄を長時間使用しますとシャワーの温度がしだいに低下し、そのままさらに使用すると最後には水になります。
冬期には冷水（約 5℃）から**高**（約 40℃）になるまでに約 15 分間かかります。

●シャワーの温度は、スイッチの位置に合わせて一定の温度に調節しています。
温水タンク内制御温度
低 : 約 36℃、中 : 約 38℃、高 : 約 40℃。

着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄〈ビデ洗浄付の場合〉、脱臭の各機能がはたらきません。



着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。

- **前にかがんだり、前寄りに座った場合**
  ※ 便座に深めに座る等、座り方を変えてみてください。
- **黒色や毛羽立った布地等の光が反射しにくい衣服を着ている場合**
  ※ センサーに手をかざす等、肌を検知させるようにしてください。
- **センサーに汚れや水滴が付着している場合**
  ※ 汚れや水滴等を取り除いてください。

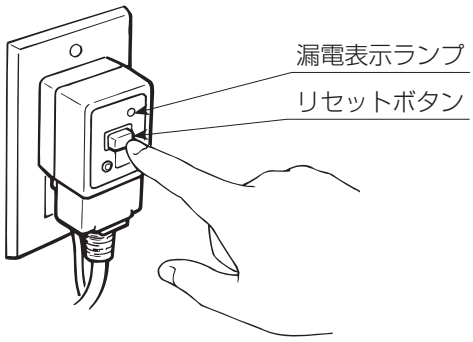
漏電表示ランプが点灯したとき。〈漏電保護プラグ付の場合〉

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。また、電源プラグに水がかかると漏電表示ランプが点灯する場合があります。

漏電表示ランプが点灯したときは、

1. 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど間をおいて再び差し込みます。
2. リセットボタンを押してランプを消灯させます。

※ 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または INAX メンテナンスへご連絡ください。



洗浄強さが弱ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってノズルを押し出し、シャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さが弱にあると、ノズルが出ないことがあります。
このようなときは、「強」にしてください。
(☞ 11 ページ)

ノズルの付近から出る水は？

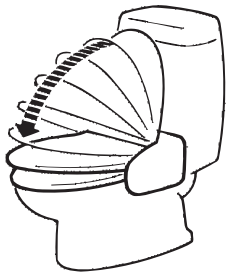
便座に座った直後や洗浄の前後、温水スイッチを入れたとき等、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または INAX メンテナンスへご連絡ください。

ゆっくり閉じる便座・便フタ。

便座・便フタには、あやまって倒したとき等の衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。



省エネについて。

省エネのためには、以下の項目が有効です。

- 使用後は便フタを閉じておきましょう。
- 便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
  ※ ただし、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
- 便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
- 春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
- 節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
- 長時間の外出時等、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
  ※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。（☞ 33、34 ページ）

便器のお手入れについて。

便器（陶器部）のお手入れには、中性洗剤をお使いください。

塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤を使用すると、気化したガスにより、シャワートイレの故障・破損の原因になります。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。

このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

便座や便フタ・カバー類（プラスチック部）のお手入れのしかた

●柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

●お手入れには当社純正のシャワートイレお掃除クリーナーまたはトイレ用おそうじティッシュ（別売品）をおすすめします。

市販の便座用洗剤等も使用できますが、中には適さない製品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。
別売品の購入方法については 45 ページをご覧ください。

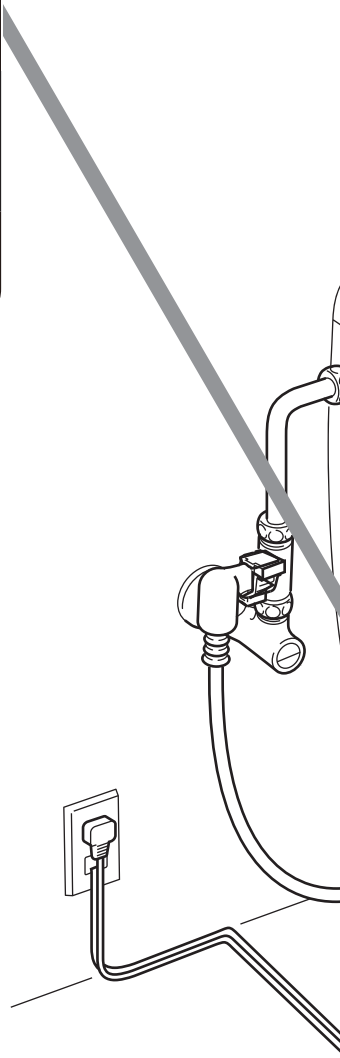
※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞ 25 ページ参照）また、本体を便器から外すことができますので、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 27 ページ参照）

注意 **乾いた布やトイレットペーパー等でふかないでください。**

※キズつきの原因になります。

清掃中等に、万一クリップが外れた場合、しっかりとはめ直してください。

※漏水し、室内浸水の原因となります。



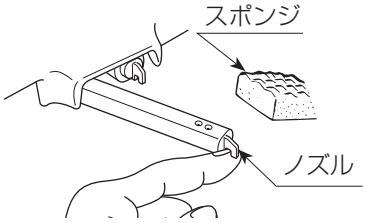
⚠ 警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。

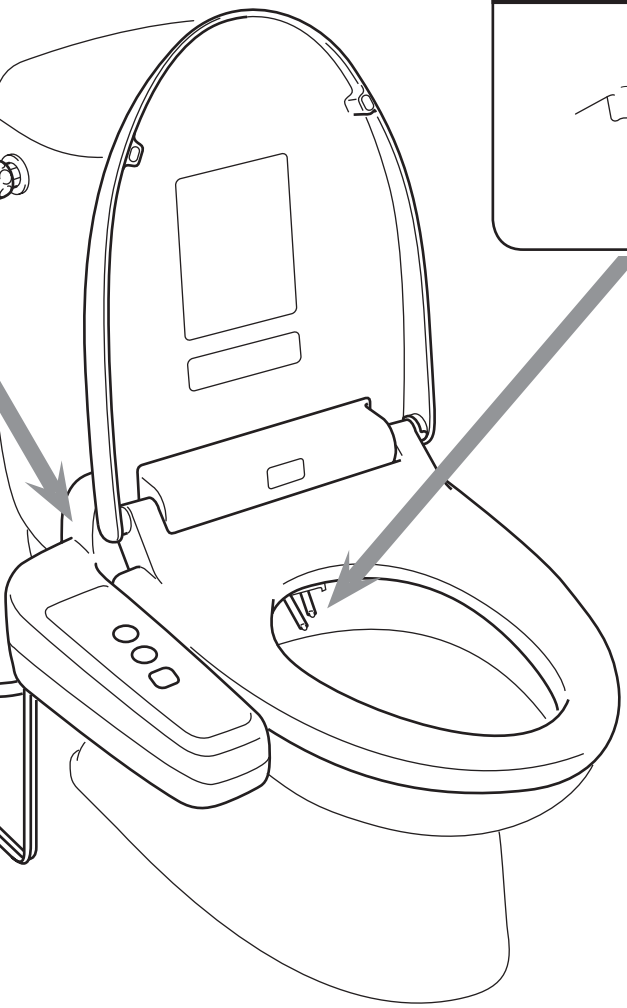
⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外 (トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール) は使用しないでください。
※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。
※ 感電・火災の原因になります。

ノズルのお手入れのしかた



ノズルを引き出し、スポンジ等を当てて掃除してください。
※ ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。



抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌プラスチックを、操作部のスイッチシートには抗菌シートを採用しています。

KILAMIC 抗菌商品について

- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会（SIAA）の推進によって抗菌 JIS 規格（JISZ2801）から ISO 規格（ISO22196）になりました。

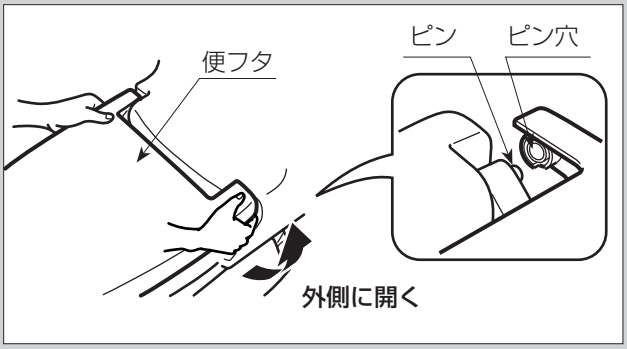
《便フタの外しかた（便フタまわりの隠れた部分の掃除）》

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部をお掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

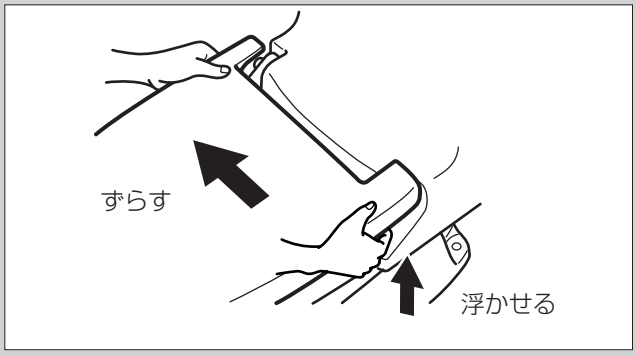
注意 ● お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

便フタの外しかた

1. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



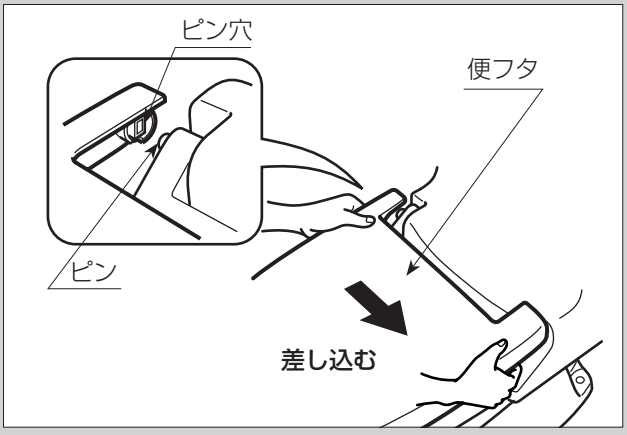
2. 便フタの右側を浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。



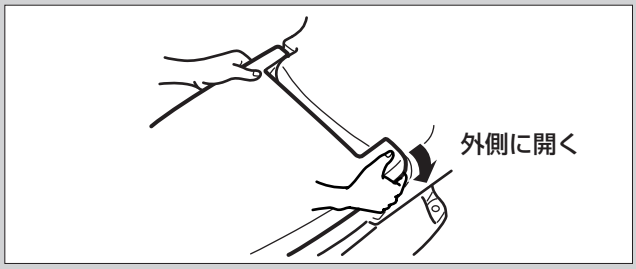
注意 強引に外そうとすると割れる等、破損の原因となります。

便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体向かって左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



お手入れのあとは、電源プラグをコンセントに差し込んで、温水と便座の表示ランプが電源プラグを抜く前と同じであることを確認してください。

《脱臭効果が弱くなった場合》

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

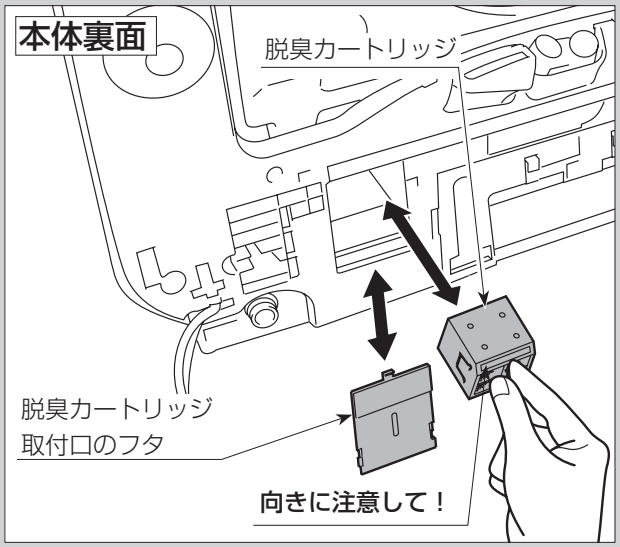
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 本体を便器から外します。
   (☞ 27 ページ参照)
3. 本体底面にある、脱臭カートリッジ取付口のフタを外します。
4. 脱臭カートリッジを引き抜きます。
5. フィルターのホコリ等を歯ブラシ等で取り除きます。

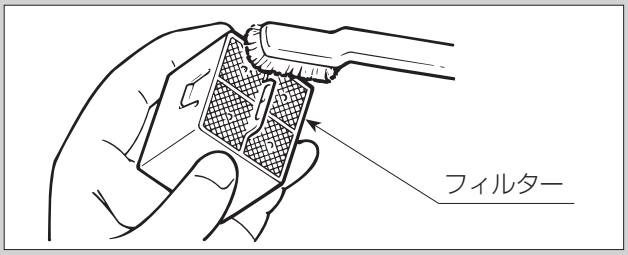
注意 脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。

6. 脱臭カートリッジのつまみを持ち取付口に添って差し込み、フタを取り付けます。

注意 脱臭カートリッジは右図の向き（角を削った部分を上にして）で、本体に取り付けてください。

7. お手入れが終わったら、本体を元通りに取り付けます。
   (☞ 28 ページ参照)





■脱臭カートリッジのお取替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約 4 年です。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、45 ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

⚠ 注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れないでください。
※ ケガの原因になります。

禁止

《本体で隠れた便器部分を掃除します》

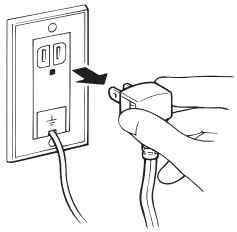
〈本体スライド着脱のしかた〉

※ **日頃の汚れを手軽に掃除したいときに便利です。**

※ 分岐金具と本体の給水接続が、本体給水ホースではなく接続銅管による接続の場合は、本体を外して掃除することはできません。

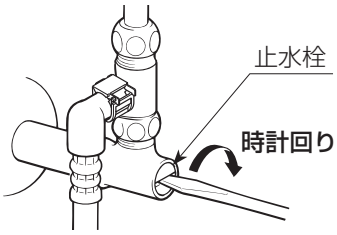
1．本体の外しかた

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
（注意 1. 参照）



2. 止水栓を閉めて給水を止めます。

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

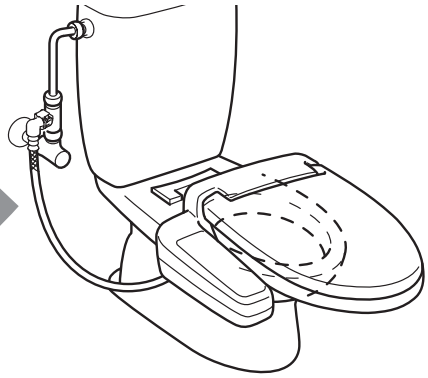


3. ① 本体向かって右側にあるロックレバーを引きます。

② **手前に少し持ち上げるように**スライドさせて、本体を便器から外します。（注意 2. と 3.、4. 参照）

※ 外すときは、便座・便フタを持たずにゆっくりスライドさせてください。また、無理にこじらないでください。

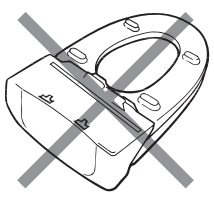
4. 本体を便器リム部に静かに置きます。



注意

1. **電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。**
※温水タンクのカラダキによって発煙・発火の恐れがあります。
2. **温水タンクの水は、必ず抜いてください。**
※温水タンク内に水が入っていると、漏電の恐れがあります。
3. **コード類や本体給水ホースを引っ張らないでください。**
※破損や漏水の恐れがあります。
4. **本体の取外時や清掃時には、ていねいに扱ってください。**
※漏水・故障の原因となります。
5. **本体は、電源を入れたまま絶対に裏返さないでください。**
※故障の原因になります。

●裏返さないで！
●床に置かないで！



●引っ張らないで！

2. 掃除のしかた

●本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。

※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書にしたがってください。

⚠ 警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

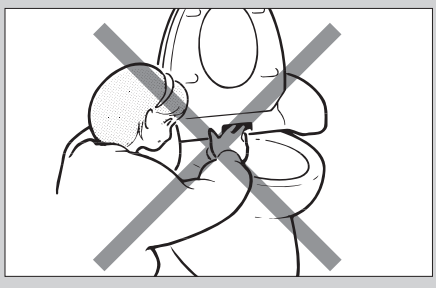
注意

●便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を取り付けてください。

※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。

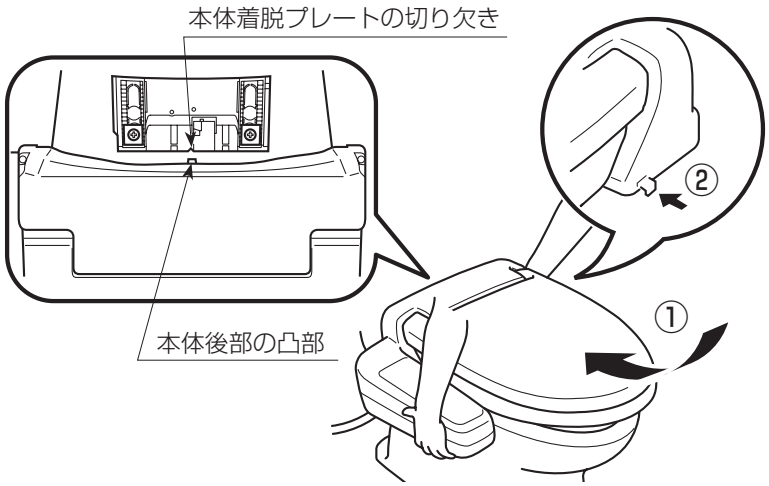
●ノズル付近に手や物を突っ込まないでください。

※ 手をケガしたり、故障の原因になります。



3. 本体の組付けかた

1. シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの切り欠きと本体後部にある凸部を合わせます。



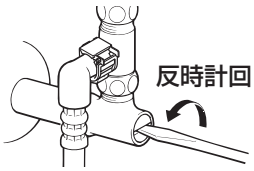
2. **手前を少し浮かせるようにして**、本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで奥にスライドさせ、ロックレバーを押し込んで固定します。

※ 奥までしっかりスライドしないと、ロックレバーは押し込めません。

固定後、本体をかるく前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認します。

3. 止水栓を元の位置まで開いて、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。



4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
このとき温水と便座の表示ランプ「低」が点灯することを確認します。

5. 取付けが完了したら**必ず試運転を行ってください。**
（☞ 8、9 ページ）

注意

●本体が確実に固定されていること（本体のロックレバーが確実に押し込まれていること）を確認してください。

※ 固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。

●ホース類を無理に曲げないでください。

※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

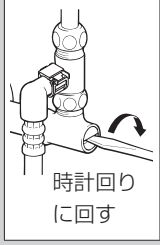
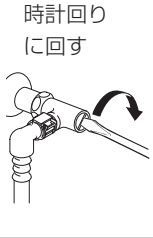
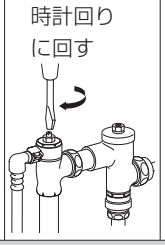
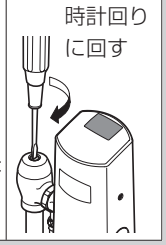
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

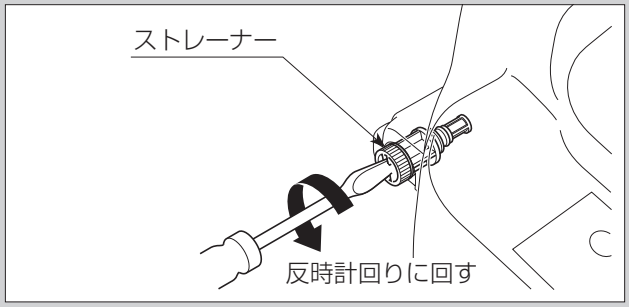
1. 止水栓（止水部）を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

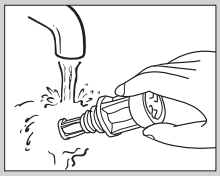
タンク用止水栓の場合	シャワートイレ専用止水栓の場合	フラッシュバルブの場合	オートフラッシュ C の場合
			

2. 本体左下のストレーナーを工具で回して外します。

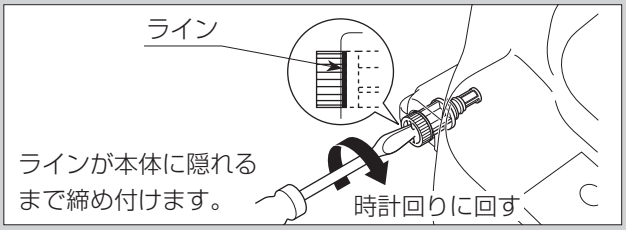
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。



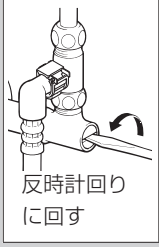
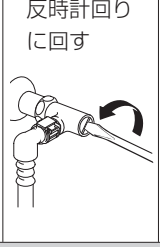
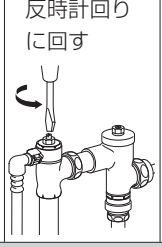
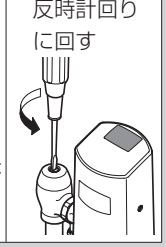
3. ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



4. ストレーナーを工具で確実に取り付けます。



5. 止水栓（止水部）を元の位置まで開きます。

タンク用止水栓の場合	シャワートイレ専用止水栓の場合	フラッシュバルブの場合	オートフラッシュ C の場合
			

6. 最後に必ず試運転を行ってください。

（☞ 8、9 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認してください。
  ※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

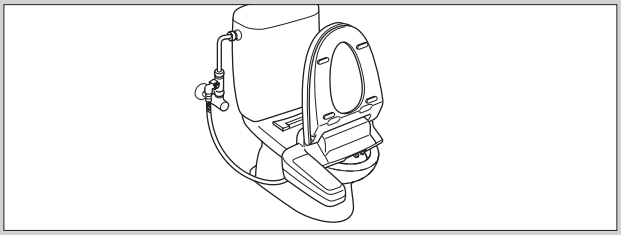
《流水音が小さいまたは大きいと思ったら》

流水音の音量が小さい、または大きいと感じられたら、以下の要領で調節してください。

流水音の音量調節方法

1. シャワートイレ本体を便器から外し、便器リム部の先端に静かに置きます。（☞ 27 ページ）

注意 本体が便器から落下しないよう注意してください。



2. 便フタ・便座を開きます。

3. 音量の調節をします。

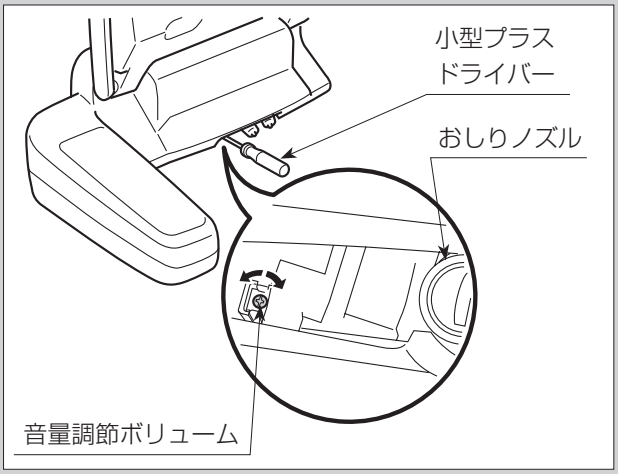
小型のプラスドライバーを使って、ノズル部の左側奥にある音量調節ボリュームを回して調節します。

音を大きくする場合：時計回りに回します。

音を小さくする場合：反時計回りに回します。

注意 **音量調節ボリュームを強く押したり、回しすぎないでください。**

※故障の原因になります。



4. シャワートイレ本体を便器に取り付けます。（☞ 28 ページ）

《定期的な部品交換のお願い》

摩耗劣化する部品交換のお願い

- 部品が摩耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので交換が必要です。
- 摩耗劣化する部品の例
  例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファン等
- 部品の交換については、お求めの取扱店または INAX メンテナンスにご依頼ください。
  製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

〈定期的な点検・部品交換の目安〉

使用年

／1／2／3／4／5／6／7／8／9／10／11

お客さまによる日常のお手入れ・点検

消 耗 部 品 の 交 換

摩 耗 劣 化 部 品 の 交 換

買換え ご検討

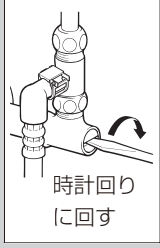
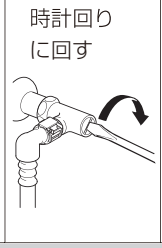
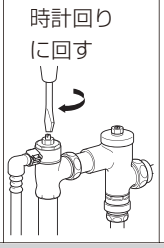
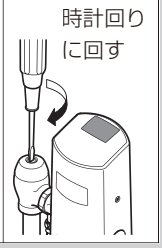
長期間使用しない場合

以下の場合は本体内および給水ホースの水抜きを必ず行い、止水栓を閉め、電源を抜いてください。
- 旅行等で長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
- 別荘等で使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。）

水抜きおよび電源の取外し

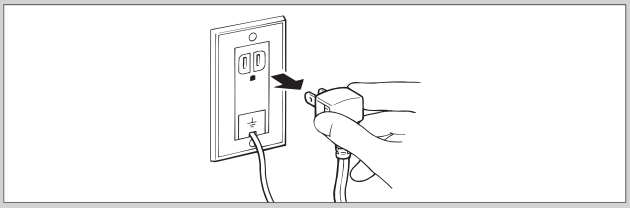
1. 止水栓（止水部）を閉めて、給水を止めます。

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

タンク用止水栓の場合	シャワートイレ専用止水栓の場合	フラッシュバルブの場合	オートフラッシュCの場合
			

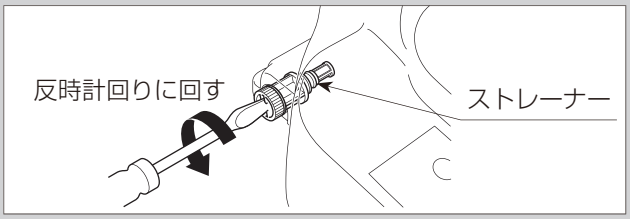
2. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3. 電源プラグをコンセントから抜きます。

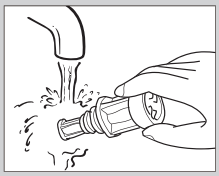


4. 本体給水ホースから水を抜きます。

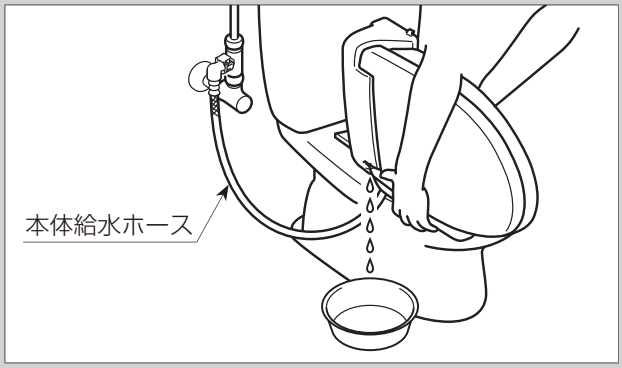
①ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
②ストレーナーを工具で回して外します。



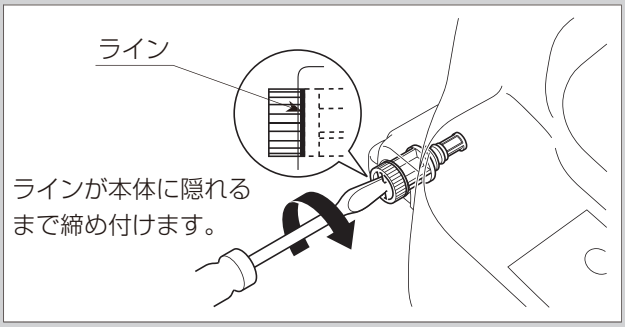
③ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。



④シャワートイレ本体を便器から取り外します。（☞ 27 ページ）
⑤本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。



⑥水抜き完了後、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。



次ページへ

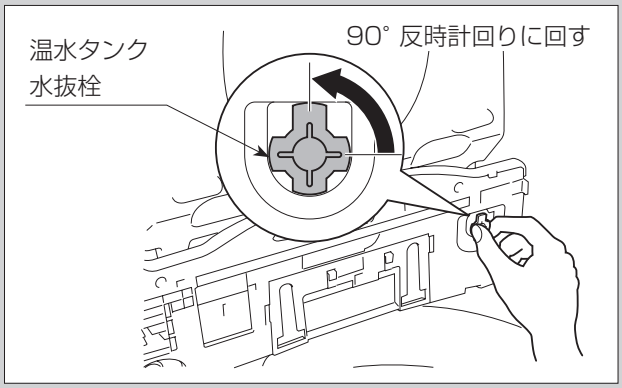
⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
  ※Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

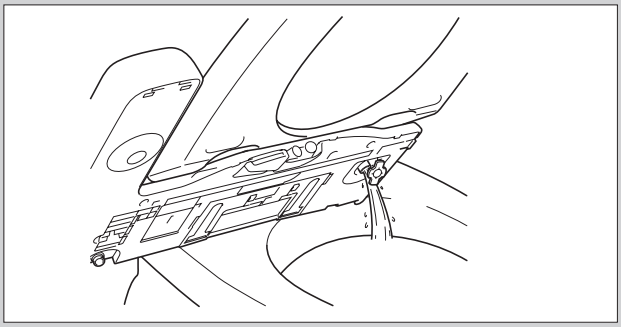
水抜きおよび電源の取外し（つづき）

5. 温水タンク水抜栓を外して、温水タンクから水を抜きます。

①本体底面にある水抜栓を反時計回りに 90 度回してゆるめます。

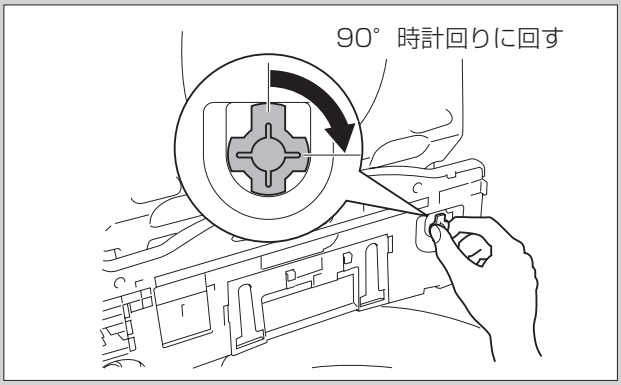


②水抜栓を引き出し、本体を手前に傾けて温水タンクから水を完全に抜きます。



注意 **本体を立てたまま水を抜かないでください。**
※水が本体内部に進入して故障の原因になります。

③水抜き完了後、水抜栓を時計回りに 90 度回して締め付けます。



④シャワートイレ本体を便器に取り付けます。
（☞ 28 ページ）

6. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 8、9 ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

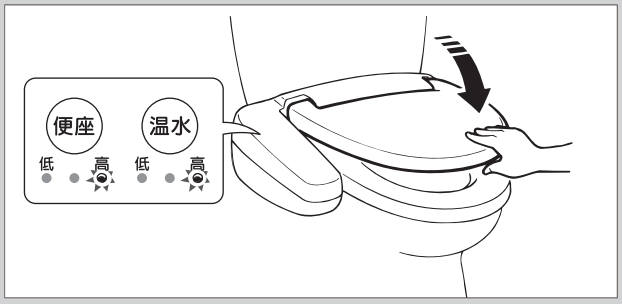
注意
本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。凍結破損を防止するために必ず水抜きを行ってください。
電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておいてください。また、節電機能は解除してください。

一般的な凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

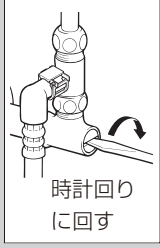
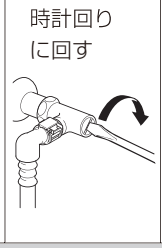
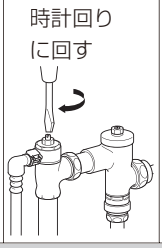
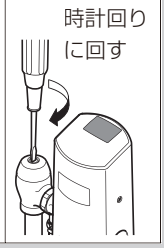


2. 室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

1. 止水栓（止水部）を閉めて、給水を止めます。

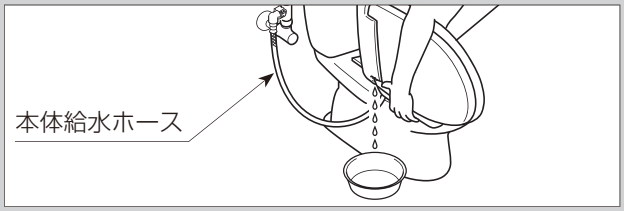
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

タンク用止水栓の場合	シャワートイレ専用止水栓の場合	フラッシュバルブの場合	オートフラッシュ C の場合
			

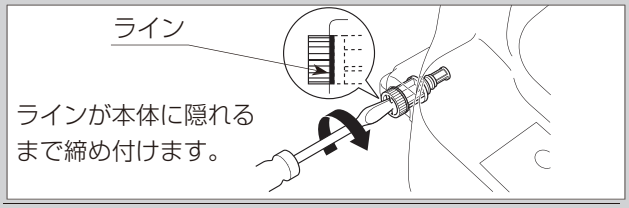
（次ページの注意参照）

2. 本体給水ホースから水を抜きます。

①ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
②ストレーナーを外します。（☞ 29 ページ）
③ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。
④シャワートイレ本体を便器から取り外します。（☞ 27 ページ）
⑤本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。



⑥水抜き後、シャワートイレ本体を便器に取り付けます。（☞ 28 ページ）
⑦ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。

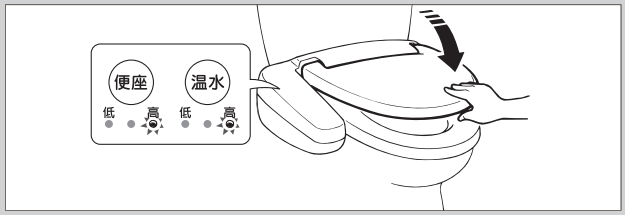


3. 着座センサーを手で覆っておしりスイッチを押します。（本体バルブ内の水を抜きます。）
約 5 秒後、止スイッチを押してください。

4. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 8、9 ページ）

流動式便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。



2. 便器本体の流動ハンドルを操作します。

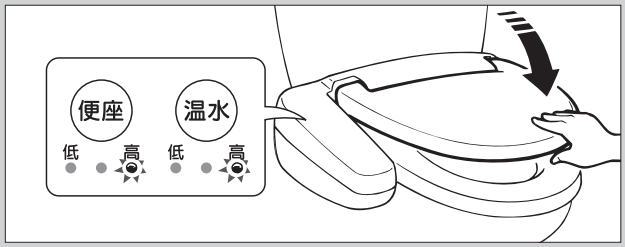
タンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

3. 室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、「一般的な凍結防止方法」と同様にシャワートイレ内の各部の水を抜いてください。

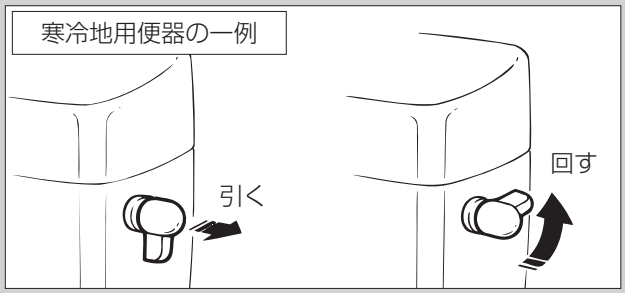
水抜栓による凍結防止方法

1. 温水スイッチを「高」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。



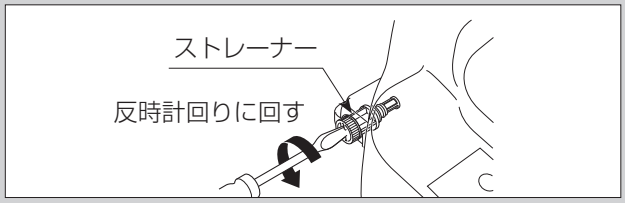
2. 水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。

3. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。



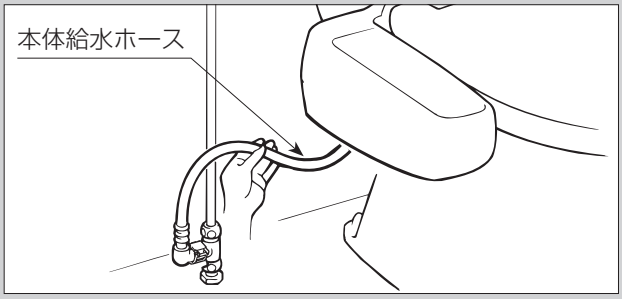
4. 本体給水ホースから水を抜きます。

①ストレーナーの下に洗面器等を置きます。
②ストレーナーを工具で回して外します。



③ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして、完全に取り除きます。

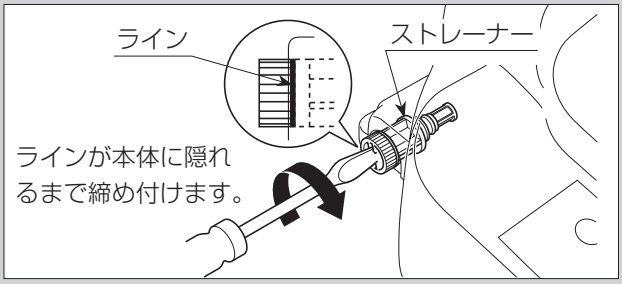
④本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



5. 着座センサーを手で覆っておしりスイッチを押します。（本体バルブ内の水を抜きます。）

約５秒後、止スイッチを押してください。

6. 水抜き後、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。



7. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞ 8、9 ページ）

⚠ 注意

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようラインが本体に隠れるまでしっかり締めてください。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認してください。
  ※Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

指示実行

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意 本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または INAX メンテナンスにご相談ください。

全機能

現　象	原　因	処　置
全く動かない	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカー等を確認します。
	電源が「切」（洗浄強さの表示ランプ消灯）になっていませんか。	設定を解除し、止スイッチを 6 秒以上押して、本体の温水と便座の表示ランプを点灯させます。（☞ 10 ページ）
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。（☞ 8 ページ）
	漏電していませんか。（温水と便座の表示ランプ消灯）になっていませんか。	電源プラグをコンセントから抜き、しばらくおいてから再び差し込みます。それでも作動しない場合は、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
	〈漏電保護プラグ付の場合〉 漏電していませんか。 （漏電表示ランプが点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
	100V 以外の電圧がかかっていませんか。	**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**
	2 時間以上便座に座っていませんか。	2 時間以上座り続けると、おしり洗浄・ビデ洗浄〈ビデ洗浄付の場合〉の操作ができなくなります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。
	着座センサー（黒い部分）が汚れていませんか。	着座センサーにゴミや水滴等の汚れが付いていると、着座センサーが検知したままの状態になっている場合があります。センサー部を柔らかくキレイな布でふいて、汚れを取り除いてください。（☞ 21 ページ）
	着座センサーがはたらいたままの状態になっていませんか。	便座･便フタカバーを浮いた状態で取り付けると、着座センサーが検知したままの状態になっている場合があります。取り外してご確認ください。

おしり洗浄・ビデ洗浄〈ビデ洗浄付の場合〉

現　象	原　因	処　置
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。（☞ 8 ページ）
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。（☞ 29 ページ）
	着座センサーに汚れや水滴等が付着していませんか。	汚れや水滴等を取り除きます。（☞ 21 ページ）
	水道圧が低くないですか。洗浄強さダイアルが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さを「強」側にします。（☞ 11 ページ）
次ページへつづく	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座る等、座り方を変えます。（☞ 21 ページ）

おしり洗浄・ビデ洗浄〈ビデ洗浄付の場合〉（続き）

現　　象	原　　因	処　　置
つづき シャワーが出ない	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに手等をかざします。 （☞ 21 ページ）
	温水タンクが満水になっていますか。	試運転を行います。（☞ 8、9 ページ）
シャワーが温かくない	温水スイッチが適当な温度に調節されていますか。	設定を解除し、温水スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 10 ページ）
	長時間洗浄しましたか。	約 15 分で温かくなります。（☞ 21 ページ） 貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 13 ページ）

暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置
便座が暖かくない	便座スイッチが適当な温度に調節されていますか。	設定を解除し、便座スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞ 10 ページ）
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。（☞ 13 ページ）
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。 （☞ 16 ページ）
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。

脱臭

現　　象	原　　因	処　　置
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーに紙が張りっぱなしになっていませんか。	着座センサーの紙を取り除きます。
	不適切な布カバーを付けていませんか。（着座センサーに布が掛かっていませんか。）	布カバーを外して使用してください。
脱臭ファンが回らない	脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。（☞ 12 ページ）
	便座に 2 時間以上座っていませんか。	故障ではありません。便座に 2 時間以上座っていると、自動的に着座センサーが「切」になります。
脱臭効果が弱くなった。（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリ等が付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除してください。 （☞ 26 ページ）
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。 （☞ 26 ページ）
脱臭ファンの音が変わる	着座時と脱座時で脱臭ファンの音が変わります。	故障ではありません。 脱臭ファンが「パワーモード」から「フルパワーモード」に変わります。（☞ 12 ページ）

フルオート便器洗浄〈フルオート便器洗浄付の場合〉

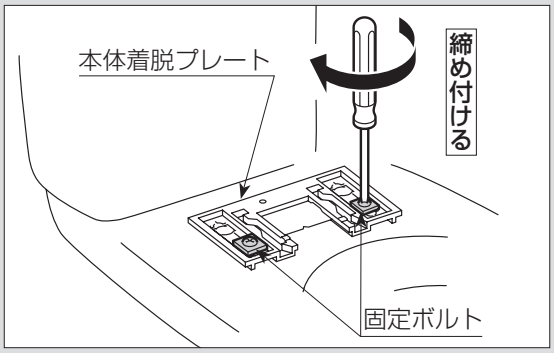
現　　象	原　　因	処　　置
自動便器洗浄しない	自動便器洗浄の設定が解除されていませんか。	自動便器洗浄を設定します。（☞ 15 ページ）
	お掃除モードではありませんか。	「オートフラッシュ C」の取扱説明書をご覧ください。
大小洗浄しない	大洗浄のみの設定になっていませんか。	大小洗浄の設定に切り替えます。（☞ 16 ページ） ※ オートフラッシュCの設定変更も必要です。詳しくはオートフラッシュC（品番：OKC-500SCW他）の取扱説明書を別途ご参照ください。
水が勝手に流れる	シャワートイレを併設していませんか。	シャワートイレ本体の洗浄信号（カスタムコード）を変更します。「併設されたシャワートイレの誤作動時の対応について」をご覧ください。（☞ 18 ページ） ※ オートフラッシュCの洗浄信号（カスタムコード）も変更する必要があります。詳しくはオートフラッシュC（品番：OKC-500SCW他）の取扱説明書を別途ご参照ください。

その他

現　　象	原　　因	処　　置
本体がガタつく、ずれる	ロックレバーを押して本体をロックしていますか。	ロックレバーを押し込んで本体をロックさせます。（☞ 28 ページ）
	本体着脱プレートがゆるんでいませんか。	本体着脱プレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直します。（下記参照）
本体からグググッと音がする ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●電源スイッチを押したとき ●便座から立ち上がったとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節に、異常がなければ問題ありません。	
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）		故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。
洗浄強さランプが点滅している	点検時期が来ている。	**点検時期ですので、お早めに点検をお受けください**
温水または便座の表示ランプが点滅している	点滅している機能に不具合が生じている。	**故障していますので、コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。**
お買い上げ時の設定に戻したいとき	〈より快適な機能〉で変更した機能を、全てお買い上げ時の設定に戻します。	**「おしり」と洗浄「強」と洗浄「弱」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押してください。**（☞ 19 ページ）
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふきとってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。

■本体着脱プレート固定方法

1. 本体をスライド着脱で便器から外します。（☞ 27 ページ）
2. プラスドライバーを使って、本体着脱プレート内にある 2 本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
3. 本体を元に戻します。（☞ 28 ページ）



安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または INAX メンテナンスまでご連絡ください。

1. 所有者登録のお願い

シャワートイレを安全かつ安心してお使いいただくために、製品安全や保守に関わる情報をご提供できるよう、所有者登録をお願いしております。所有者登録のお手続きは、Web でのご登録、または専用ハガキに必要事項をご記入の上、当社までご返送ください。

詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。

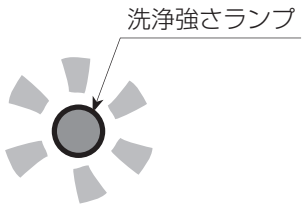
※ 一般家庭以外でご使用のオーナーさまは Web のみのご登録となります。

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）機能について

製品のご使用を開始して約 10 年が経過すると、洗浄強さランプが連続して1秒間に約5回の点滅を繰り返します。

この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障が無いかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。



当社では安全点検（有料）をご用意しております。

この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。

※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-1794-00）

3. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、INAX メンテナンスにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願い致します。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合

次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または INAX メンテナンス 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は弊社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

4. 点検の修理、お申し込みは

INAXメンテナンス　修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

5. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

⚠ 警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガ等の事故に至る恐れがあります。

(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便：１回 / 日・人、小便男性：４回 / 日・人、小便女性：４回 / 日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

参考

経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（35 ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、**お求めの取扱店または INAX メンテナンス**にご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●コードの傷みやコンセントのガタつき
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しないでください。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

シャワートイレ本体および給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。
※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

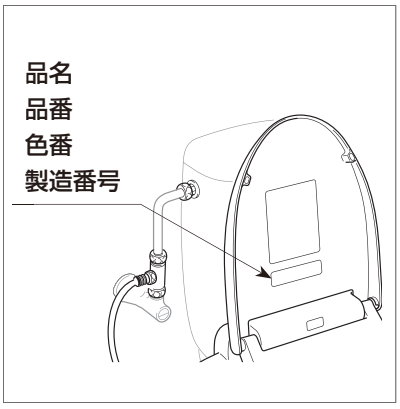
■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏または製品本体に張ってあるシールをご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録等をされるときには、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないようにしてください。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 6 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより 3 年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により洗浄強さランプが点滅したら

定期点検については、INAX メンテナンスまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法等のお問合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間 平日 9:00～18:00
土・日・祝日 9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理のご依頼は

INAXメンテナンス 修理受付センター

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス http://www.i-mate.co.jp

■延長保証について

通常、保証期間は 2 年間ですが、「所有者登録」されますと無料でさらに延長されます。
Web からご登録いただくか、同梱の「所有者登録ハガキ」に必要事項を記入し、アンケートにお答えいただいて郵送してください。
※ 詳しくはご購入時にお渡しの「保証書・所有者登録のお願い」をご覧ください。
※ 一般家庭以外でのご使用は、Web でご登録いただいた場合のみ 1 年間延長され、計 3 年間保証になります。

仕様

グレード			CW-P22AF 型・P22F 型 CW-P22AFQ 型・P22FQ 型 （女性用）	CW-P22AM 型・P22M 型 CW-P22AMQ 型・P22MQ 型 （男性用）
定格電源			AC100V　50/60Hz	
定格消費電力			309W	
省エネ区分			貯湯式	
年間消費電力量※1			180kWh/ 年（節電機能切時：252kWh/ 年）	
使用水道圧範囲	最低必要圧力		0.06MPa （流動圧）	
	最高水圧		0.74MPa （静水圧）	
使用温度範囲			0 ～ 40℃	
商品寸法			幅 491mm ×奥行 547mm ×高さ 150mm	
商品質量			約 4.0kg	
電源コード	漏電保護機能なし		有効長さ :1.0m（アースコード付）	
	漏電保護機能あり		有効長さ :1.0m （漏電保護機能 、アースコード付）	
機能部	洗浄	給水方式	水道直結式	
		給湯方式（タンク容量）	貯湯式・0.88L（※ 2003 年新基準による貯湯量）	
		おしり吐水量	0 ～ 0.9L/ 分（3 段階調節）供給水圧 0.2MPa のとき	
		ビデ吐水量	0 ～ 0.9L/ 分（3 段階調節） 供給水圧 0.2MPa のとき	―
		温水温度	水温・約 36℃～ 40℃（計 4 段階切替） ステップ節電設定時：水温・約 34℃～ 40℃ ワンタッチ節電 (8h) 設定時：水温	
		ヒーター容量	250W	
		安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・空ダキ検知回路	
	暖房便座	表面温度	使用時：室温・約 28℃～ 36℃※2（計 4 段階切替） ステップ節電設定時：室温・約 28℃～ 36℃ ワンタッチ節電 (8h) 設定時：室温	
		ヒーター容量	45W	
		安全装置	温度ヒューズ	
	脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式	
		脱臭能力	着座時　　：0.11m³/ 分 アフター脱臭時：0.16m³/ 分	

※ 1： 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。( )内は、ワンタッチ節電機能を使用しない場合の年間消費電力量。

※ 2： 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。
使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■シャワートイレお掃除クリーナー　品番：CWA-20
■シャワートイレお掃除クリーナー（業務用）品番：CWA-22

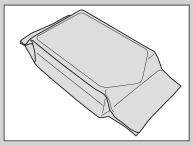
プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。
シュッと吹きかけて、ただふきとるだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
（☞ 23 ページ）

一般用
（スプレーノズル付）
品番：CWA-20

業務用（10L 缶）
品番：CWA-22

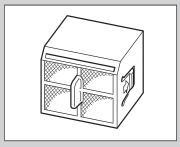
■トイレ用おそうじティッシュ
4 個セット　品番：CWA-36-4SET
12 個セット 品番：CWA-36-12SET

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
（☞ 23 ページ）



■取替え用脱臭カートリッジ
（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約 4 年です。
ニオイが気になりだしたら交換してください。（☞ 26 ページ）



別売品の購入方法

● 直接、購入される場合

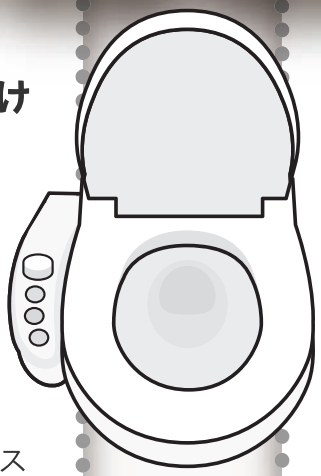
弊社商品の取扱店でお求めください。

● 宅配サービスをご利用される場合

INAX メンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けいたします。（宅配サービスでは送料が別途必要となります。）
[電話注文]
電話番号　0120-00-1794
受付時間　9：00 ～ 17：00（夏期・年末年始の休みは除く）
[インターネット利用]
下記ホームページアドレスにアクセスして、商品をお求めください。
http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/(24 時間受付)
（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

温水洗浄便座　**重大事故防止のためのお願い**

温水洗浄便座は電気製品で寿命があります



故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**になります。異常に気づいたら、**電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。	酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。	電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト　**症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちに販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。**

便座・便座コード　便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 本体や便座にひびや割れがありませんか？　ゴム足は外れていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- □ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ　電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 電源コードが熱くなっていませんか？　傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- □ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？

水漏れ　水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- □ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

温水洗浄便座協議会　後援 経済産業省
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18　http://www.sanitary-net.com
フリーダイヤル 0120-39-7718　受付時間　平日09:00～17:00

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
INAXメンテナンス修理受付センターへ

TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年　月　日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

GCW-1250B(11040)